したるのみならず、兩切煙草の需要增加したるを以て、比較的多量の原料を準備するの必要に出でたるものとす。アルゼリア葉は前年度に於て始めて購買したるものなるも、價格比較的低廉にして來國葉下級品の代用原料に適するを以て、本年度に於ても略、同額を輸入したり。

**（四）葉煙草輸移出**

本年度實渡高は合計二十三萬七千六百四十七貫、三十五萬七千八十二圓にして、前年度に比し三萬九千二百四十七貫、八千二百八十八圓を減じたり。此の原因は主要輸移出先たる支那及朝鮮に於ける一般經濟界不振にして、口付煙草の需要は比較的廉價なる兩切煙草の需要に移轉するの傾向を生じたる爲め、專ら口付煙草の原料に使用せらるる本邦葉煙草の需要を減じたること其の一因なるべしと雖も、輸移出に適したる下級葉煙草の在庫高比較的寡少にして、實渡を爲すこと能はざりしに因るものとす。

**（五）煙草製造**

本年度に於て製造煙草生産の爲め葉煙草を使用せし原量目は一千百三十一萬一千七百餘貫にして、解包調理の結果實量目は千六十三萬六千三百餘貫となり、差引六十七萬五千三百餘貫を缺減せり。今之を前年度に比するときは原量目に於て八萬八千八百餘貫、實量目五萬一千餘貫、缺減量目三萬七千八百餘貫を增加せり。之れ製造煙草生産高增加に伴ふ結果に外ならず。

本年度に於ける煙草製造高（更裝品數量を含む）は、口付紙卷煙草五十三億七千八百八十萬二千五百餘本、兩切紙卷煙草二十億一千七百十六萬一千七百餘本、葉卷煙草八十二萬一千七百餘本、刻煙草六百五十五萬五百餘貫にして、之を前年度に對比するときは葉卷煙草十八萬八千三百餘本、刻煙草十一萬一千八百餘貫を減じ、口付紙卷煙草七億一千九百九十七萬四千七百餘本、兩切紙卷煙草四億一千七百二十一萬六千二百餘貫を增加したり。

刻煙草の直營作業は益〻擴張せられ、本年度に於ける製造高は直營作業五百九十餘萬貫、場外作業五十餘萬貫にして全生産高の九割迄を直營に移すことを得たり。

**（六）煙草輸入**

本年度外國製造煙草購買額は紙卷煙草二千二百五十五萬四千五百四十五本、代金十二萬六千百二十三圓、葉卷煙草百五十三萬三千四百七十五本、代金六萬三千三百七十五圓、刻煙草二千六百七十二貫八十三匁、代金二萬一千八十六圓、板煙草五百二十貫六十五匁、代金千九百二十九圓、代金合計二十一萬二千五百十五圓にして、前年度に比し刻煙草に於て少額の減少ありたる外は、全般に亙りて多少增加し、代金合計に於て三萬六千六百五十八圓を增加したり。

**（七）煙草販賣**

煙草販賣官署は既往數年の整理に因り其の配置略、適當の域に達したるが故に、本年度に於ても大なる異動なかりしが、本年六月官制改正の結果販賣官署の名稱及其の管轄區域の變更に依り、本年度末現在數は支局二十箇所、出張所二十六箇所、合計四十六箇所となり、前年度末現在に比し三箇所を減少せり。而して上記販賣官署中內國製品及輸入製品の全部を販賣するもの三十箇所なり。

煙草元賣捌人は前年度七月指定更新期を機とし、幾分營業區域の廢合を行ひたる結果、本年度に於ては些の異動なく現狀維持の狀態に在り。煙草小賣人も元賣捌人と等しく前年七月指定更新を期

とし之が整理を行ひたるを以て、本年度に於ては大なる異動なく、前年度末現在に比し僅に八百七十人を增加したるに止まる。

本年度の內地用煙草販賣高は卷煙草六十五億二千百五十三萬二千餘本、刻煙草六百九十萬五千六百二十貫餘にして、前年度に比し卷煙草は一割、刻煙草は二分を增加せり。又賣上代金總額は八千百七十二萬七千六百餘圓にして、前年度に比し五分五厘の增加を示せり。今煙草の賣行を種類別に觀察するに、內地向口付紙卷煙草の賣渡高は四十九億百一萬一千餘本、此の賣渡代金二千五十八萬一千九百餘圓にして、前年度に比し數量に於て一割一厘、代金に於て九分九厘を增加せり。蓋し社會の進歩に伴ひ、煙草の需要も輕便にして體裁佳良なる卷煙草を喫用する者の增加せし爲めなり。尙ほ之を品種別に見れば、從來非常の發展を繼續せし敷島は依然好況にして、其の增加數量は口付中最多額なるも、其の增加步合より見れば朝日最高を占めたり。其の他の品種も概ね相當の增加を來したりと雖も、唯芙蓉のみ減少を示せるは、本品は主として敷島の代用品として需要せられしものなるも、本年度に於ては從來供給不足勝ちなりし敷島の供給が充實せられし爲め、俄に本品の減少を見るに至りしものなり。又內地用兩切紙卷煙草の本年度の總賣渡高は十六億一千九百六十六萬六千餘本、賣渡代金六百七十一萬七千七百餘圓にして、前年度に比し數量に於て九分四厘、代金に於て九分五厘を增加したり。兩切中最も好況なるはゴールデンバットにして總數に對して約八割を占め、前年度賣行に對する增加割合は一割四厘に達し、本年十二月「ほまれ」の一般賣渡中止以來益〻賣行增加の傾向を呈し、殆ど兩切の賣行を獨占するの慨あり。「ほまれ」は好況にして十一月迄は一般に賣渡をなせるが、多大の供給不足を生じ、到底增製の餘地なきを以て、十二月以來軍隊酒保の專用品となしたるを以て、需給關係の圓滿を得るに伴ひ賣行數を減少せり。リリーは賣行數量は僅少なれども稍〻好況に向ひたるものの如く、前年度に比較すれば相當の增加步合を示せり。其の他は賣行僅少の品種にして擧げて云ふに足るものなく、就中不況にして前年度より賣行減少したるはエアーシップ・オリエント・アイリス・ナイル等なり。次に內地用刻煙草の本年度總賣渡高は六百九十萬五千六百餘貫匁、賣渡代金五千四百三十八萬九千七百餘圓にして、前年度に比し數量にて二分、代金にて三分五厘を增加せり。刻は白梅以上の上級品は各品種共不況を繼續し、前年度より孰れも賣行の減少を來せり。之に反し「あやめ」「さつき」の中級品は最も好況にして、著しく賣行を增加し、刻全體に於て前年度より增加を見るに至りたるは、全く此等中級品に於ける增加の結果に外ならず。「はぎ」「なでしこ」の下級品に至りては「なでしこ」は常に供給不足を告げし爲め前年度より著しく減少を來し、其の結果自然「はぎ」の賣行を增進し、前年度より幾分の增加を見るに至れり。富貴煙は不況にして前年度より著しく減少せり。更に內地用葉卷煙草の本年度の總賣渡高は八十五萬四千八百餘本、代金三萬八千二百餘圓にして、前年度に比し數量に於て二分八厘、代金に於て四分九厘を減少せり。而して各品種に就きて其の賣行を見れば、ベルフェクトス・ロンドレスの二種は幾分增加したるも、其の他に於ては總て減少したる爲め結局上記の成績となりたるものにして、大體に於て稍〻不況に傾きたるものの如し。輸入製造煙草は前年度に比し葉卷煙草に於て多少の減少を來したるも、紙卷煙草は著しき增加を示し、刻煙草も稍〻增加せし爲め、總代金に於ては比較的好成績を擧ぐるに至れり。卽ち本年度賣渡高は葉卷煙草百三十四萬五千五百餘本、代金十六萬一千五百餘圓、紙卷煙草千七百三十三萬二千六百餘本、代金三十四萬一千二百餘圓、刻煙草其の他二千二百餘貫匁、代金五萬六千九百餘圓、代金合計五十五萬九千七百餘圓にし

て、前年度に比し數量に於て葉卷煙草は九厘を減少し、紙卷煙草は二割四分一厘、刻煙草其の他は一分六厘を增加し、總代金に於ては一割一分を增加せり。

**（八）煙草輸移出**

本年度に於ける製造煙草の輸出用賣渡高は口付紙卷煙草數量三千七百四十四萬本、代金九萬四百二十圓、兩切紙卷煙草二億三千三百八十四萬五千本、代金三十九萬十七圓、刻煙草三千百十貫、代金二萬三千六百八十三圓、代金七十萬九千二百七十七圓、兩切紙卷煙草二千二百二萬本、代金二萬六千二百七十九圓、刻煙草二萬六千九百三十貫、代金十二萬一千九百四十六圓、代金合計八十五萬七千五百二圓なりとす。今輸移出代金の合計百三十六萬一千六百二十三圓を前年度に比すれば二割三分の增加を示したり。

（口付煙草二割二分增、兩切煙草四割五分增、刻煙草一割二分減）、大體に於て輸移出共に增進を示せり。

## 第十七款　大正三年度

**（一）煙草耕作**

大正三年の公示段別は三萬六千六百九十九町歩にして、之に對し耕作許可を與へたるもの二十五萬八百七十五人、段別三萬五千九十一町餘歩なりとす。又試作申請に對し許可を與へたるは二萬四千九百四十五人、段別千七百六十三町餘歩にして、兩者を合計すれば二十七萬五千八百二十人、段別三萬六千八百五十四町餘歩なり。而して査定の實蹟は耕作者二十七萬五千百四十四人、段別三萬六千百八十二町餘歩にして、前年に對比し耕作者四萬四百九十三人、段別四千六百九十一町餘歩の增加を示せり。斯くの如く大增加を來せる所以は、蓋し前々年來煙草耕作の成績頗る佳良にして耕作志氣大に勃興したると、他面原料供給上の關係より配當段別を增加したる結果に外ならず。

大正三年に於ける全國の作柄を通觀するに、三月下旬より四月に亙り氣溫寒冷なりし爲め播種及發芽稍遲れたるも、四月中旬以降氣溫の上昇と共に發育良好となり、移植期に入りても一部地方を除く外、引續き天候適順經過良好にして著しく生育を促進したり。其の後は一時晴天多く氣候乾燥に過ぎたるに因り生育を阻止し、收穫時期幾分遲れたるも概して良好なる生育を遂げたり。收穫期に入りては屢〻暴風雨の襲來あり、就中八月下旬に於て京阪以東一帶の地に、九月中旬に於て四國中國以西の地方に暴風雨あり、當時其の經路に當りし產地は大半收穫濟なりしを以て、收量には差したる影響なかりしも、之が爲め晩收となり又は乾燥中の品質を損傷したるもの尠からざりき。要するに本年の作柄は生育の初中期に於ける氣候順調なりし地方多かりしを以て、概して發育良好なりしも、收穫乾燥期の天候不良なりしに因り、全國を通じ一段步當收量は平年に比し九分の增加を示せしも、一貫目當價格は平年より六分餘の低下を示せり。卽ち本年產の總收穫量目は千五百二十七萬二千餘貫（此の內年度內收納濟千二百三十四萬九千百餘貫、翌年度繰越二百八十二萬四千五百餘貫、亡失廢棄九萬七千八百餘貫、其の他五百餘貫）にして、一段步當收穫量は四十二貫二百八匁となり、之を前年度に比するときは平均收穫量は七百九十三匁を減じたるも、總收穫量は百七十二萬六千八百餘貫（一割二分七厘）を增加せり。又一貫匁當賠償價格は一圓十一錢八厘にして、前年度に比し十七錢五厘、前々年度に比し二錢五厘を低下したり。

**（二）葉煙草收納**

大正元年及二年の作柄概して良好なりしと、主要種類の葉煙草に對し賠償價格の引上ありしとの爲め、一時沈衰せる耕作者の人氣恢復して漸次順況に向ひ、大體に於て段別增加の傾向を示すに至れりと雖も、明治四十三・四年の凶作後原料葉煙草に不足を告ぐるに至り、從て製造上の所要量目は元年以降年々增加し、上述の狀況を以てするも三年度に於ける生産所要の量目を得ること能はざる形勢なりしを以て、煙草耕作の收支償はざるものの内、特に必要ありと認むる郡山支局管内産會津葉外數種類に對し、本年度に於て賠償價格約一箇等の引上を行ひ、同時に告示種類及等級に幾分の變更を加へたり。

大正三年產葉煙草の收量は千四百六十二萬六千六百餘貫匁、此の所要賠償金千六百五十五萬二千九百餘圓の豫定にして、內乾燥調理及專賣資金の關係に因り當然年度內に於て收納すること能はざるもの二百六十二萬五千餘貫匁、賠償金二百四十二萬四百餘圓は大正四年度に繰延收納することとし、本年度內に收納すべきは新葉千二百萬千五百餘貫、賠償金千四百十三萬二千五百餘圓、古葉四十一萬千九百餘貫、賠償金三十一萬百餘圓、合計千二百七十六萬千百餘貫、賠償金千四百四十一萬三千四百餘貫、賠償金千四百四十四萬二千六百餘圓と計畫せり。而して年度內收納の實蹟は新葉千二百三十四萬九千百餘貫、賠償金千三百八十萬六千三百餘圓、古葉四十一萬千九百餘貫、賠償金三十一萬二百餘圓、合計千二百七十六萬千百餘貫、賠償金千四百十一萬六千六百餘圓にして、之を前年度に比較すれば量目に於て六十一萬九千七百餘貫、賠償金に於て三百三萬千七百餘圓を減少したり。斯くの如き減少は專賣資金の關係より翌年度繰越葉の多量なりしと、品質不良葉の多かりし爲め平均賠償價格の低下したりしとに基因す。

### （三）葉煙草輸入

本年度外國產葉煙草の購買高は數量三十二萬二千八百五十九貫、價格九十九萬二千百八十一圓にして、前年度に比し數量七萬八千七百四貫、價格三十四萬九千四百七十四圓を減少せり。購買高の最も多きは米國葉の數量二十六萬七千六百八十五貫、價格八十七萬四千四百圓にして、アルゼリア葉・馬尼剌葉・土耳古葉之に次ぐ。米國葉の前年度に比し數量十萬四千七百餘貫（二割八分）、價格四十二萬二千二百餘圓（三割三分）を減じたるは、葉組標準變更の爲め內地產米國種葉及アルゼリア葉の使用數量增加し、米國葉所要數量を減少せしに因り、又其の一貫匁當購買價格（三圓二十六錢七厘）に於て十八錢六厘（五分）を低減せるは、本年度米國に於て歐洲戰亂の影響を受け輸出葉煙草の減少を來したる爲め、市價低落せしに因る。アルゼリア葉は米國葉下級品の代用原料に適し、且つ價格比較的低廉なるに因り、本年度に於ては購買數量を增加せり。

### （四）葉煙草輸移出

本年度に於ける葉煙草の輸移出用賣渡は合計二十一萬五千五百四貫、價格四十一萬三百四十二圓にして、前年度に比し數量は二萬二千百四十三貫を減じたるも、價格は五萬三千二百六十圓を增したり。輸移出先の重なるものは朝鮮の數量十二萬九千九百四十二貫、價格二十四萬八千四百六十六圓を第一位とし、支那・埃及及英國等之に亞ぐ。埃及は本年度初めて輸出を開始したるものにして、一萬七千六百貫、價格四萬二千九百七十六圓の賣渡ありたり。

### （五）煙草製造

本年度に於て製造煙草生產の爲め使用せし葉煙草の原量目は千百九十二萬六千二百餘貫匁にして、解包調理の結果其の賣量目は千百十三萬五千五百餘貫となり、差引七十九萬六百餘貫（六分六厘）の

缺減を生じたり。今之を前年度に比するときは原量目に於て六十一萬四千四百餘貫、實量目に於て四十九萬九千二百餘貫、缺減量目に於て十一萬五千二百餘貫を增加せり。

本年度に於ける煙草製造高（更裝品數量を含む）は口付紙卷煙草五十九億四千二百三十五萬六千二百餘本、兩切紙卷煙草十七億四千五百八萬八千四百餘本、葉卷煙草八十八萬九千六百本、刻煙草六百九十萬七千二百九十七貫にして、之を前年度に對比するときは、兩切紙卷煙草に在りては二億七千二百七萬三千二百餘本を減じたるも、口付紙卷煙草に在りては五億六千三百五十五萬三千七百餘本を、葉卷煙草に在りては六萬七千八百餘本を、刻煙草に在りては三十五萬六千七百餘貫を夫々增加したり。

**（六）煙草輸入**

本年度に於ける外國製造煙草の購買高は紙卷煙草數量二千二百二萬三千二百餘本、代金九萬五千百九圓、葉卷煙草六十四萬九千二百本、代金二萬八千七百三十四圓、刻煙草二千八百三十七貫餘、代金一萬五千五百十八圓、代金合計十三萬九千三百六十一圓にして、前年度に比し紙卷は三萬一千十四圓（二割四分）、葉卷三萬四千六百四十一圓（五割四分）、刻五千五百六十八圓（二割六分）、總代金七萬三千百五十餘圓を減じたり。右の如き減少を示せるは歐洲戰亂の爲め渡來外人の減少せると、獨逸方面よりの輸入杜絕せる結果に外ならず。

**（七）煙草販賣**

本年度に於ける煙草の賣行を通觀するに、卷煙草は依然賣行良好にして前年度より增加を來したるも、刻煙草に於ける賣行不況なりし爲め、年度末に於ける指示事項の勵行に因る非常の賣行を包含せるに拘らず、總代金に於ては前年度に比し僅少の賣行增加を示せしに過ぎず。卽ち本年度內地用煙草販賣高は卷煙草六十七億六千五百四十八萬餘本、刻煙草六百八十四萬六千五百四十八貫餘匁にして、前年度に比し卷煙草は三分六厘を增加せしも、刻煙草は九厘を減少せり。又本年度の賣渡代金總額は八千二百八十萬四千七百七十九圓餘にして、前年度に比し一分三厘を增加せり。今各種類別に就き賣行狀況を概說するに、內國製口付紙卷煙草の本年度賣渡高は五十一億二千五百二十四萬一千餘本、此の賣渡代金二千百四十三萬九千百八圓餘にして、前年度に比し數量に於て四分四厘、代金に於て四分二厘を增加せり。口付中賣行最も優勢なる敷島は總數量の七割五分を占め、依然數量に於て嶄然頭角を顯はせるも、前年度に對する增加率は從來より著しく減少せるのみならず、其の增加數量より見れば既往は常に口付中の最多額なりしに、本年度は朝日に一籌を輸するに至れり。次に前年度に對する增加數量及步合の最大なるは朝日にして、五億三千六十八萬五千三百餘本、代金百八十四萬二千四百七十圓の賣行ありたり。其の他の賣行增加品は大和「やよひ」「たつ田」等にして、大和及「たつ田」の增加は朝日及カメリヤの供給不足の爲め、之が代用品としての賣行を主因となせるものなり。賣行減少品はカメリヤ・八雲・芙蓉・國華の各品種にして、其の內カメリヤの供給不足より來れる減少を除けば、他は何れも製造廢止若くは賣行不況に因るものなり。兩切紙卷煙草の本年度總賣渡高は十六億三千九百六十二萬餘本、賣渡代金六百九十三萬五千三百八十九圓餘にして、前年度に比し數量に於て一分二厘、代金に於て三分一厘を增加せり。兩切は殆どゴールデンバットの獨占にして、總數に對する賣行步合の如き、前年度までは七割九分を出でざりしに本年度は八割三分に達し、今や兩切の消長は一に本品の增減如何に歸着する狀態となれり。本年度の賣行は「ほまれ」の軍隊專用となりたる爲め新に其の需要の一部を吸收し、又口付の朝日・カメリヤに供給不足ありたる爲め、之が代用と

しての賣行を包含せるに因り、其の增加數量は「ほまれ」の減少數を償ふて餘りあり。次に「ほまれ」は賣渡先限定の爲め前年度より賣行を減少せりと雖も、軍隊に於ては頗る好況にして、漸次需要を增加しつつあり。リリーは現狀維持の程度にして前年度と大差なく、其の他は孰れも賣行僅少にして擧げて言ふに足るものなし。唯下級品中蝴蝶は好況にして增加率は兩切中の最高なり。又刻煙草の本年度總賣渡高は六百八十四萬六千五百四十八貫餘匁、賣渡代金五千三百八十七萬八千四百六十圓餘にして、前年度に比し數量代金共九厘を減少せり。刻は前二箇年度に於ては增加を示せるも、卷煙草に比すれば甚だ少額なりしに、本年度は終始不況を持續し、年度末に於て指示勵行に因る異常の賣行ありたるに拘らず、遂に前年度より減少するの不成績を來せり。是れ蓋し時勢の變遷に伴ふ嗜好の推移と、米價の下落及時局の影響より來りたる農民及勞働者間の不景氣が、刻の賣行に影響を及ぼせし所甚大なりしに基くものと云ふべし。而して增加せし上級品種中に「さつき」を存するも、其の增加率は前年度より著しく下降し、又下級品に於ては「なでしこ」富貴煙に增加を來し、就中前年度まで不況にして賣行減少を繼續せし富貴煙の俄に賣行を復活し、刻煙草中增加歩合の最高を占むるが如き、總て下層民衆の生活難を語るものに外ならず。其の他刻賣行の大部を占むる「はぎ」「あやめ」は孰れも賣行減少せるの不況なり。葉卷煙草の本年度總賣渡高は九十二萬二百餘本、代金四萬二千五百二十圓餘にして、前年度に比し數量に於て七分一厘、代金に於て一割一厘を增加したり。葉卷の內前年度より賣行減少せしはベルフエクトス一種にして、其の他は總て增加を來し、中にも增加數量最も多きをロンドレスとなし、合計の五割に達せり。又增加歩合の最も多きはプリンセサスにして、十六割餘に相當せり。內地葉卷の賣行增加は國產奬勵に因る需要喚起と收容捕虜の消費增加せしとに因る。

更に輸入製造煙草の賣行を見るに、其の中葉卷煙草の賣渡數量は百十二萬七千餘本、代金十二萬七千五百五圓餘にして、前年度より數量に於て一割六分二厘、代金に於て二割一分一厘を減じ、紙卷煙草の總賣渡數量は千八百五十萬六千餘本、代金三十一萬六千五百五十五圓にして、前年度に比し數量に於て六分三厘を增加し、代金に於て七分二厘を減少せり。刻及板煙草の總賣渡數量は二千七百七十三貫餘匁、代金六萬五千二百四十一圓餘にして、前年度に比し數量一割七分六厘、代金一割二分八厘を增加せり。葉卷の依然たる減少は內地製葉卷若くは紙卷煙草に嗜好轉化せしに因る。紙卷は不景氣の爲め上級品は賣行減少したるも、下級の獨逸ラフエルム製品及馬尼剌コムマーシアル製品等に多大の增加を來せり。されど年度央に於て戰亂物發の爲め獨逸よりの輸入杜絕せしを以て、豫期の增加を見るに至らざりき。刻は最も好況にして、從來供給不足勝ちなりし佛蘭西製品の供給充實せしを爲め好成績を擧ぐるを得たり。

### （八）煙草輸移出

本年度に於ける製造煙草の輸出用賣渡高は口付紙卷煙草一千七十八萬本、代金二萬四千二百二十七圓、兩切紙卷煙草一億三千二百二十六萬三千本、代金十九萬三千六百二十四圓、刻煙草二千百三十六貫、代金一萬三千四百六十五圓にして、同上移出用賣渡高は口付紙卷煙草五億九千一百四十六萬本、代金七十六萬八百六十三圓、兩切紙卷煙草千三百二十七萬二千本、代金一萬五千四百二十三圓、刻煙草二萬六千五百八十六貫、代金十萬九千四百五十四圓、代金合計八十八萬五千七百四十圓なりとす。今輸移出用賣渡代金を總計すれば百十一萬七千二百五圓となり、前年度に比し二割一分八厘を減少せり。之を種類別に見れば口付二分、兩切四割四分、刻一割五分の減少

なり。

## 第十八款　大正四年度

### （一）煙草耕作

大正四年の煙草耕作公示段別は三萬五十三町歩にして、之に對し耕作許可を與へたるは二十四萬七千四百五十二人、此の段別二萬九千七百八町餘歩なりき。此の外に試作許可の分二萬千百四十八人、此の段別千四百五十九町餘歩あり、之を合計するときは二十六萬八千六百人、此の段別三萬千百六十七町餘歩なりとす。而して査定の實蹟は耕作者二十六萬八千二百九十二人、此の段別三萬七百七十六町餘歩、量目千三百八萬二千七百餘貫匁にして、前年に比し耕作者六千八百五十二人、段別五千四百六町餘歩、量目二百七萬千四百餘貫匁を減少したり。斯くの如き減少を示したる所以は、蓋し對抗産業の物興に伴ひ煙草耕作に影響を及ぼしたると、他面製造原料供給上の見地より配當段別を尠からしめたる結果に外ならず。

本年の作柄を見るに、苗床期中の天候概して不順なりし爲め發芽・生育共に幾分遲延したるも、五・六月の交天候恢復と共に生育を挽回し、移植は平年より甚しき遲延を見ずして終了するを得、其の後の狀況も亦概して順調なりしが、七月に入り旱天續き、二・三の極早作産地を除く外は一時生育遲延したり。然れども八月上旬降雨を得て頓に恢復し、收量著しく增加の勢を呈し、唯幾分晩熟を免れざるの狀況を示せり。八月上旬より九月上旬に亙り氣候濕潤に過ぎたるが爲め、多くは適期に收穫するを得す、又採收したるものも適當なる乾燥を遂ぐる能はず、爲に乾葉の品質は鹿兒島地方を除く外は概して色澤不良且つ膩脂分少く、甚しきものは乾燥中蒸し葉先腐敗に傾きたるものありて、品質極めて不良に陷り、全國平均一貫匁當價格八十八錢四厘にして、平年に比すれば一割九分を低下せり。而して總收穫量目は千三百十一萬三千七百餘貫にして（内本年度收納濟一千二百六十八萬八千百餘貫、翌年度繰越二十九萬五千百餘貫、亡失廢棄に係るもの十二萬九千五百餘貫、其の他八百餘貫）、之を前年度に比するときは二百六十五萬九千三百餘貫卽ち一割七分四厘を減少せり。

### （二）葉煙草收納

大正二年の豐作は耕作者の收入を著しく增加したる爲め、一時沈衰したる人氣も頓に恢復し、耕作熱旺盛となりしを以て大正三年の耕作段別は一擧に增加し、製造原料所要額との關係上最早段別擴張の必要なきに至れるのみならず、物價も亦低落に傾き、平年作收入を以てするも略ぼ耕作費を償ふに足るの見込なりしが故に、大正四年產葉煙草の賠償價格は之を据置とし、前年の告示賠償價格を襲用することとせり。

大正四年產葉煙草の收量は千二百八十一萬七百餘貫匁、此の所要賠償金千三百六十五萬九千三百餘圓の豫定にして、內乾燥調理不能の爲め當然年度內に收納すること能はざるもの十七萬七千八百餘貫匁、此の賠償金十四萬四千六百餘圓は大正五年度に收納することとし、本年度內に於て收納すべきは新葉千二百六十三萬七千九百餘貫匁、此の賠償金千三百五十一萬四千七百餘圓、古葉二百八十四萬五千七百餘貫匁、此の賠償金二百萬千餘圓、合計千五百四十八萬三千六百餘貫匁、此の賠償金千五百五十一萬五千七百餘圓と計畫せり。而して其の收納の實蹟は新葉千二百六十八萬八千百餘貫匁、此の賠償金千百三十一萬三百餘圓、古葉二百八十四萬五千七百餘貫匁、此の賠償金二百萬千餘圓、合計千

五百五十三萬三千八百餘貫匁、此の賠償金千三百三十一萬千三百餘圓にして、之を前年度に比すれば量目に於て二百七十七萬二千八百餘貫匁を增加し、賠償金に於て八十萬五千三百圓を減少したり。量目の增加は專賣資金の關係上前年產古葉の繰越多かりしに基き、賠償金の減少及一貫匁當平均價格の低下は、品質の粗惡なりし結果に外ならず。

（三）葉煙草輸入

本年度葉煙草の購買高は數量十三萬三百九十七貫、價格三十八萬八千四百六十一圓にして、內米國產十二萬八千百八十九貫、三十六萬四千九百十圓を占め、土耳古產・マニラ產・ハバナ產の順に各少量を購買せり。前年度に比し購買高增減の主なるものを擧ぐれば、米國葉に於て數量十三萬九千四百九十六貫（五割二分）、價格五十萬九千四百八十九圓（五割八分）を減少せり。此の原因は在庫品の比較的潤澤なりしと、葉組標準を變更して內地產米種葉其の他代用葉の使用數量を增加したるに基く。アルゼリア葉の輸入なきは佛國大統領令に依り同國殖民地アルゼリアより葉煙草の輸出を禁止したる結果、輸入不能となりしに因るものにして、ハバナ葉の新に輸入ありしは優良なる葉卷煙草の製造を開始したる結果、品質上等なるハバナ葉の必要ありしに因る。本年度米國葉一貫匁購買價格は二圓八十四錢七厘にして、前年度に比し四十二錢（一割三分）を低減したるは、本年度は比較的下級葉の購買多かりしのみならず、米國葉の收穫數量非常に增加し供給潤澤なりし爲め市價の低落せしに因る。

（四）葉煙草輸移出

本年度の輸移出用葉煙草總賣渡高は合計十九萬七千四百二十三貫、價格二十一萬五千四百三十一圓にして、朝鮮を第一位とし、支那・英國・埃及・南洋之に次ぐ。賣渡數量は前年度に比し僅に八分を減じたるに過ぎざるも、價格に於て四割七分を減じたるは、主として下級品の需要多かりしに因るものなり。朝鮮及支那向數量の減少したるは同地の經濟界不振に基くものにして、英國及埃及行數量の增加したるは、歐洲戰亂の結果土耳古及希臘產葉煙草の價格騰貴したる爲め、補充用原料として本邦產葉煙草の需要增加したるに因る。又本年度に於て南洋に輸出せられたるは、新に我占領地となれる南洋諸島の土人向として本邦產葉煙草を供給したるものなり。

（五）煙草製造

本年度に於て煙草製造の爲め使用せし葉煙草原量目は一千百九十五萬七千七百餘貫にして、解包調理の結果其の實量目は一千百二十一萬二千四百餘貫となり、差引七十四萬五千三百餘貫の缺減を生せり。今之を前年度に比するときは原量目に於て三萬一千五百餘貫、實量目に於て七萬六千八百餘貫を減少せり。

本年度に於ける煙草製造高（更裝品數量を含む）は口付紙卷煙草五十九億六千三百六十萬六千四百六十本、兩切紙卷煙草十八億四千七百三十九萬五千八百八十本、葉卷煙草八十六萬七千三百九十五本、刻煙草七百四萬七千七百五十二貫にして、之を前年度に對比するときは葉卷煙草に於て二萬二千二百餘本を減じたるも、口付紙卷煙草に在りては一億二百三十萬七千四百本、刻煙草に在りては十四萬四百餘貫を增加したり。尙ほ本年度に於ては秋季擧行せられたる御大禮記念として口付紙卷煙草八千代を新に製造し、又臺灣總督府より始政二十年記念式來賓接待用として兩切紙卷煙草製造賣渡方請求ありしに應じ、ジヤスミンの製造をなしたり。又夔に內地用として製造を開始したる兩切紙卷煙草アイリスを、氣密丸型鈒力鏃五十本入及平型鈒

力鑵二十本入となし、輸出用として製造したり。

場外作業擔當人は隨意契約に依り政府の工場外に於て煙草製造の一部を擔當するものにして、製造專賣開始當時に於ては口付紙卷煙草及刻煙草製造の擔當人員合計五百二十一人、其の工場數六百四十九なりしが、口付紙卷煙草の製造は明治四十二年中に全部直營に移すことを得、刻煙草製造に於ても逐年直營の擴張を圖りたる結果、本年度末に於ては場外作業擔當人は僅に八人、八工場を剩すのみとなれり。而して此等も亦本年度末日限り契約を解除せられたるを以て、場外作業の制度は玆に始めて圓滿なる終局を告ぐるに至れり。

（六）煙草輸入

本年度外國製造煙草購買高は紙卷煙草千二百十六萬一千五百九十本、代金五萬四千八百十二圓、葉卷煙草六十七萬一千八百二十五本、代金二萬四千十七圓、刻煙草千八百四十一貫餘匁、代金一萬四千三百八十二圓、代金合計九萬三千二百十二圓にして、前年度に比し四萬六千餘圓を減少したり。右は歐洲戰亂の爲め獨逸方面よりの輸入杜絶したる結果に外ならず。

（七）煙草販賣

本年度製造煙草の賣行は財界の不況に伴ひ上半期は著しく不振なりしも、下半期に於て御大典記念煙草の發賣、都會地の景氣恢復及十二月以後の店舖備付監督の勵行等により、卷煙草は前年度より著しく賣行增進せり。然れども主として農民を顧客とせる刻煙草の賣行は遂に前年度より減少を來し、爲に總代金に於て三分の減少を見るに至れり。卽ち本年度內地用煙草販賣高は卷煙草七十一億九百六十四萬餘本、刻煙草六百三十六萬八千八百二十九貫餘匁にして、前年度に比し卷煙草は五分一厘を增加し、刻煙草は七分を減少せり。而して賣渡代金總額は七千九百四十九萬五千七十八圓餘にして、前年度に比し三分九厘の減少なりとす。今煙草の賣行を種類別に觀察すれば、內國製口付紙卷煙草の賣渡高は五十三億四千百七十八萬九千餘本、此の賣渡代金二千二百十七萬四千六百十四圓にして、前年度に比し數量に於て四分二厘、代金に於て三分四厘を增加せり。口付煙草の賣行增加したるは逐年卷煙草の嗜好增進の傾向に加へて、本年度は御大典にて人氣沸騰したるに際し記念煙草八千代の發賣あり、一時非常の人氣を博し多額の賣行を見たると、都會地に於ける景氣恢復に基く賣行增進に起因するものなり。之を品種別に見るときは、敷島は前年度より賣行減少せしも、之れ主として八千代の發賣に基因するものにして、兩者の賣行を合すれば前年度より著しく增加せり。前年度以來好況なる朝日は冲天の勢を以て賣行を增加し、本年度は前年度より七割餘の增加率を示せり。其の他の增加品はカメリヤ、やよひの二品種にして、前者は前年度に於ける供給不足の回復せしに基因し、後者は一部の消費者間に好評なりしに因る。賣行減少せし品種は國華、不二、芙蓉、大和、八雲、たつ田等にして、此等は從來より賣行不況なりし品種又は製造中止品なり。次に內國製兩切紙卷煙草の賣渡高は十七億六千七百萬八千餘本、此の賣渡代金七百三十一萬一千五百十七圓餘にして、前年度に比し數量に於て七分七厘、代金に於て五分四厘を增加せり。兩切は前年度より著しき增進を來し、其の增加率は口付を凌駕するの盛況なり。之れ兩切は消費者多く經濟上得策なりとの理由より、勞働者間及軍隊に於て賣行增進したるを主因とす。各品種に就て見るに殆んどゴールデンバットの獨占にして、總數に對する賣行歩合は前年度より多少低下したりと雖も、尙ほ八割一分を占めたり。本年度の賣行は都會地に於ける勞働者間の好景氣に因る需要增加と、朝日に一時供給不足あり、之が代用

として賣行ありたるとに因り、前年度より五分一厘を増加せり。「ほまれ」は軍隊に於て益〻好評にして著しき増加を呈し、リリー・スター・蝴蝶亦多少増加を示せり。リリー・スターはチエリー其の他製造中止品の需要を吸收せし結果なるべく、蝴蝶は其の賣行數量未だ僅少なるを免れずと雖も、其の前年に對する増加率は十割以上に達し、兩切中の最高位に居れり。其の他の品種は總て賣行減少を現はせしも、製造中止品を除けば孰れも賣行僅少なる上級品にして、擧げて云ふに足るものなし。內國製刻煙草の總賣渡高は六百三十六萬八千八百二十九貫餘匁、此の賣渡代金四千九百九十七萬三百九十六圓餘にして、前年度に比し數量に於て六分九厘、代金に於て七分三厘を減少せり。刻煙草は前年度に於て既に不況を示し、前々年度に比して賣行の減少を見たるも、其の率は僅に九厘に過ぎざりしに、本年度に於ては前年度より更に七分に近き減少を來せしものにして、賣渡數量に於ては實に明治四十一年度以來の不況を呈し、代金に於ては大正元年度以來の最低額を示せり。而して各品種中增加したるは最下級品たる富貴煙のみにして、其の他は各品種共減少を來し、總額の約半數を占むる「はぎ」は八分を減じ、又不景氣により嗜好の下向せるに拘らず「なでしこ」に於ても尙ほ一分の減少を見たり。內國製葉卷煙草の本年度賣渡高は八十四萬四千餘本、賣渡代金三萬八千五百五十圓餘にして、前年度に比し數量に於て八分三厘、代金に於て九分三厘を減少せり。前年度好況なりし內地葉卷煙草も、本年度は前年度よりペルフエクトスに僅少の增加を見たるのみにて、他は各品種共賣行減退せり。御大典前後より稍〻商況を恢復し賣行幾分增加せしと雖も、前半期に於ける賣行不振を償ふに至らず、遂に此の不成績に終れり。次に輸入製造煙草賣渡の狀況を見るに、葉卷煙草の賣渡數量は百四萬九千餘本、賣渡代金十一萬九千七百八十一圓餘にして、前年度より數量に於て六分九厘、代金に於て六分一厘を減じ、紙卷煙草の賣渡數量は千六百五十一萬九千餘本、賣渡代金三十萬四千八百八十圓餘にして前年度に比し數量に於て一割七分、代金に於て三分七厘を減じ、刻及板煙草の賣渡數量は二千三百二貫餘、代金五萬七千九百圓餘にして、前年度に比し數量に於て一割七分、代金に於て一割一分三厘を減少せり。輸入葉卷煙草は連年賣行減退の傾向あり、本年度も御大典前後の三箇月間稍〻好況を呈したるに止まり、其の餘は依然不況なりき。紙卷煙草及刻、板煙草は從來賣行好況なりし獨逸品が戰亂の爲め輸入杜絕し、若くは遲延したる爲め其の賣行を減少したるものなり。

（八）煙草輸移出

本年度に於ける製造煙草の輸出用賣渡は口付紙卷煙草數量一千百五十萬本、代金二萬二千五百五十七圓、兩切紙卷煙草數量一億八百七十七萬四千本、代金二十萬四千七百四十七圓、刻煙草數量九百二十四貫、代金六千九百四圓、代金合計二十三萬四千二百八圓にして、移出用賣渡は口付紙卷煙草數量四億七百七十六萬二千本、代金五十四萬六千四百二十一圓、兩切紙卷煙草數量二百三十萬五千本、代金三千九百二十七圓、刻煙草數量二萬九千三百八十五貫、代金十一萬八千八百七十五圓、代金合計六十六萬九千二百二十三圓なりとす。今輸出及移出を合せて前年度に比するに、賣渡總代金に於て一割八分九厘を減少し、之を製品別に見れば刻煙草は二分二厘增、口付紙卷煙草は二割七分五厘減、兩切紙卷煙草は二厘弱の減となれり。

## 第十九款　大正五年度

### （一）煙草耕作

大正五年度の公示段別は二萬九千十四町歩にして、之に對して耕作許可を與へたるものは二十三萬五千三百十八人、段別二萬八千四百十三町餘歩なり。外に試作許可したるもの一萬一千八百六十四人、段別八百三十九町餘歩あり、之を合計するときは二十四萬七千百八十二人、段別二萬九千二百四十三町餘歩となり、前年度に比し人員二萬一千四百十八人、段別千九百二十四町歩を減じたり。之れ主として製造原料所要の關係上、配當段別を寡からしめたる結果に外ならず。而して植付實蹟は更に減じて人員二十四萬六千八百九十四人、段別二萬八千八百六十八町歩となり、前年度に比し人員二萬一千三百九十八人、段別千九百八町歩を減少せり。

本年の作柄を概觀するに、三月下旬より四月上旬に亙り氣溫寒冷なりし爲め播種及發芽稍〻遲れたるも、其の後天候順に復すると共に發育良好となり、移植は平年に比し大なる遲延を見ずして終了するを得たり。其の後は地方により多雨又は旱天の爲め一時生育を阻害したる處なきに非ざるも、全國を通觀すれば大體に於て經過良好なりしかば、收穫は寧ろ平年より增加したり。卽ち總收穫量目は千二百七十七萬八千三百餘貫にして（內本年度收納濟千二百四十三萬七百餘貫、翌年度繰越二十七萬一千三百餘貫、亡失廢棄七萬五千五百餘貫、其の他六百餘貫）、前年度よりも三十三萬五千三百餘貫を減少したるも、一段歩當平均收穫量は四十四貫三百匁に達し、平年より一割一分餘の增收となり、從來の最高記錄を破りたり。然れども關東奥羽北陸地方に於て乾燥期中の天候不順なりし爲め品質は稍〻低下し、平均一貫匁當賠償價格一圓六錢六厘にして、前年作よりは遙に良好なりしも、平年作に比すれば尙ほ三分弱の低下となれり。

### （二）葉煙草收納

大正五年產に適用すべき葉煙草の賠償價格は種類（金澤專賣支局所屬金津取扱所區域內に於て新に耕作地を設定し、其の產葉を金津葉と名け賠償價格等級範圍を聯千九等以下とせり）及乾燥區分（大阪專賣支局管內產字陀葉に對し大正五年產より幹千の外聯千を設け、其の賠償價格等級範圍を十等以下とせり）に變更を加へたる外、前年の賠償價格表を踏襲したり。

大正五年產葉煙草の收量は千百七十萬六千百餘貫、此の所要賠償金千二百九十七萬千七百餘圓の豫定にして、內二十七萬四千餘貫、此の賠償金二十萬四千八百餘圓は翌年度に繰越し、本年度內に於て收納すべきは新葉千百四十三萬二千百餘貫、此の賠償金千二百七十六萬六千八百餘圓と、古葉十七萬七千八百餘貫、此の賠償金十四萬四千六百餘圓、合計千百六十萬九千九百餘貫、此の賠償金千二百九十一萬千四百圓と計畫せり。而して年度內收納の實蹟は新葉千二百四十三萬七百餘貫、此の賠償金千三百二十四萬七千九百餘圓、古葉三十三萬三千四百餘貫、此の賠償金千七十六萬四千百餘圓にして、之を前年度に比すれば量目に於て二百七十六萬九千七百餘貫を減じ、賠償金に於て十三萬六千二百餘圓を增加したり。量目の減少は前年度に於て古葉の收納多く、新葉の翌年度繰越尠かりしに基き、賠償金及一貫匁當價格の增加は新葉の作柄前年に比し佳良なりしに因る。

### （三）葉煙草輸入

本年度の外國產葉煙草の購買高は數量八萬千二百四十一貫、價格三十二萬三千六百五十三圓にして、前年度に比し數量四萬九千百五十六貫、價格六萬四千八百八圓を減少したり。購買高の最も多きは米國葉にして數量五萬九千八百七十貫、代金二十四萬千五百九十五圓を占め、馬尼剌土耳古ハバナ・

スマトラ葉等之に順次す。米國葉の前年に比し數量六萬八千三百十九貫（五割三分）、價格十二萬三千三百十五圓（三割五分）を減じたるは、在庫品比較的潤澤なりしと、內地產米國種葉及馬尼剌葉を以て米國葉に代用したること多かりしに因る。土耳古葉の增加は內地製埃及式紙卷煙草の需要增進したる爲め、原料として土耳古葉の必要多かりしに因り、馬尼剌葉の增加は前述の如く米國葉の減少と相對應するものなり。

（四）葉煙草輸移出

本年度の輸移出用葉煙草の賣渡高は合計六十八萬九千七百八十七貫、價格六十三萬六千九百八十五圓にして、前年度に比し數量四十九萬二千三百六十四貫、價格四十二萬千五百五十四圓を增加したり。此の內朝鮮向移出は二十三萬六千五百二十四貫、二十五萬八千八百四十三圓にして、前年度に比し十七萬七百一貫、十六萬七百七十四圓を增し、支那向輸出は二十五萬八千六百十貫、十五萬六千六百六十五圓にして、前年度に比し二十萬八千五百一貫、十一萬二千九百三十六圓を增したり。其の他埃及向輸出九萬五千七百二十二貫（前年度に比し七萬五千六百八十二貫增）、十五萬四千八百五十六圓（前年度に比し十二萬千百八十二圓增）、英國向輸出四萬九千九百三十貫（前年度なし）、二萬八千七圓あり。朝鮮及支那向の著しく增加したるは、一に東亞煙草株式會社の事業發展に由來し、其の他は歐洲大戰の爲め各國共葉煙草の產額減少したると、土耳古及希臘煙草の價格騰貴したるとに由り、之が補充原料として本邦產葉煙草の需要增加したるに因る。

（五）煙草製造

本年度に於て煙草製造の爲め使用せし葉煙草の原量目は千百十四萬四千五百餘貫にして、解包調理の結果其の實量目は千四十六萬七千九百餘貫となり、差引六十七萬六千六百餘貫卽ち原量目に對し六分一厘の缺減を生せり。今之を前年度に比するときは原量目に於て八十一萬三千二百餘貫、實量目に於て七十四萬四千五百餘貫、缺減量目に於て六萬八千六百餘貫を各〻減少せり。

本年度に於ける煙草製造高（更裝品數量を含む）は口付紙卷煙草二十二億四千二百四十二萬五千三本、兩切紙卷煙草二十二億四千二百四十二萬五千三十二萬五千二百餘貫にして、之を前年度に對比すれば刻煙草に於て六十二萬二千五百餘貫を減じ、口付紙卷煙草に於て三億六千九百三十萬二千三百餘本、葉卷煙草に於て三十一萬二千九百餘本を各〻增加したり。

（六）煙草輸入

本年度外國製造煙草の購買高は紙卷煙草千四百九十五本、代金八萬九千六百二十七圓、葉卷煙草百六萬三千五十本、代金四萬四千五百四十六圓、刻煙草千五百四十八貫餘、代金一萬五千二百二圓、板煙草四百七十四貫餘、代金二千百六十八圓、代金合計十五萬千五十五圓（本年度輸入契約額は二十二萬七千二百五十圓にして、內七萬六千百九十五圓は年度內未納のものとす）にして、前年度に比し五萬七千八百四十三圓を、前々年度に比し一萬千六百九十四圓を增加したり。斯く增加を來したるは前年度及前々年度の輸入減少に鑑み、大に製造元及輸入取扱者に督勵を加へたる結果に出づるものなり。

（七）煙草販賣

歐洲戰亂の爲め一時沈衰に陷りたる經濟界も、前年度下半期以來漸次好況に赴き、本年度に入るや聯合國に對する軍需品の供給增加し、又繭絲製紙、鑛產物等何れも漸騰の氣配を示したる爲め、諸工業は各地に勃興し、都會地竝に鑛山等は殷賑を極め、地方村落に於ても其の主產品たる米價の騰貴、蠶繭の增收竝價格の騰貴、山林業其の他副業の好況に因り稍、人氣を恢復したるを以て、煙草の賣行も此等の原因と相俟ちて、嗜好の向上及消費の增加に因り多少好況を見るに至れり。卽ち本年度內地煙草販賣高は卷煙草八十二億六千八百三十四萬五千餘本、刻煙草六百二十七萬六十四貫餘にして、前年度に比し卷煙草は一割六分三厘を增加し、刻煙草は一分六厘を減少せり。而して賣渡總代金は八千三百六十萬三千八百五十八圓餘にして、前年度に比するときは五分二厘を增加し、大體に於て好成績なりと云ふを得べし。今煙草の種類別に就き賣行の狀況を觀察するに、內國製口付紙卷煙草の內國に於ける本年度の賣渡高は六十二億五千百三十六萬六千餘本、賣渡代金二千五百五十五萬九千二百七十七圓餘にして、前年度に比し數量に於て一割七分、代金に於て一割五分三厘を增加したり。此の內最も優勢なるは依然敷島にして總數量の六割四分を占め、前年度に比し一割七分六厘を增加せり。朝日之に亞ぎて全數量の二割四分を占めたるが、其の增加率の大なること他に比類なく、前年度に比し實に六割七分九厘に達したり。其の他前年度よりも增加したるは國華不二の四割以上を始め、大和・カメリヤ・やよひ」の二割三分乃至二割五分にして、其の減少したるは「たつ田」の一種なりき。「たつ田」の賣行は從來不況なりしに、下半期以來多少挽回せんとするの傾向ありたるも、供給關係に因り遂に一割六分四厘を減少するに至れり。兩切紙卷煙草の賣渡高は二十億千五百八十七萬二千餘本、此の賣渡代金は八百三十六萬八百八十七圓餘にして、前年度に比するときは數量に於て一割四分一厘、代



金に於て一割四分四厘を增加せり。兩切の賣行も口付同樣著しく增進せるも、其の增加程度は口付に及ばざるものの如し。卽ち兩切賣渡總數の約八割を占むるゴールデンバットの前年度に對する增加步合は一割二分にして、口付中最好況品にして賣行數の本品と匹敵すべき朝日の增加率六割七分九厘に比するときは甚しき懸隔あり、又本品の倍額以上の賣行ある敷島の一割七分にも達せず。殊に供給關係に於ても兩切は口付に比し幾分の餘裕ありしに拘らず、增加の程度口付に及ばざるは、以て口付兩切兩種に對する一般嗜好の趨勢を察するに足るべし。其の他の品種も製造廢止品たるアイリス・チェリーを除けば何れも賣行增進し、リリー・スター・蝴蝶は三割乃至五割の增加率を示せり。此等はゴールデンバットと共に、都會地に於ける商工業の殷賑に伴ひ勞働者等の收入增加に基くもの如く、「ほまれ」亦軍隊の好評を受け賣行旺盛にして、前年度に比し一割九分を增加し、エアーシップ及上級品たるナイル・アルマ・オリエントの三割三分乃至五割六分の增加も、一般の好況原因に加ふるに、時局の影響を受け輸入品の供給充分ならざる爲め、其の代用として賣行良好なりしに因るものなり。次に刻煙草の總賣渡高は六百二十七萬六十四貫餘、此の賣渡代金四千九百六十三萬二千三百三十二圓餘にして、前年度に比し數量に於て一分六厘、代金に於て七厘を減少せり。刻煙草賣行の減少は時代の變遷に伴ふ嗜好の推移其の一因とすべきも、他方多年米價安に苦められたる地方農民の疲弊困憊は、尙ほ容易に其の創痍を癒するの程度に達せず、下層階級の經濟狀態の恢復甚だ遲々たるに基くものにして、從て其の影響も下級品に甚しく、刻の大宗たる「はぎ」は前年度に比し五分二厘を減少し、「なでしこ」富貴煙も略同樣なり。然るに中級品以上は福壽草の僅少なる減少を除けば「さつき」の一割を始め、白梅八分四厘、「あやめ」三分六厘、優等刻たる水府薩摩刻も一分乃至三分七厘を增加せり。之れ都

會地の好景氣其の他地方中流以上の經濟狀態の恢復に基因するものなるべし。內國製葉卷煙草の本年度賣渡高は百十萬六千餘本、此の賣渡代金五萬千三百六十一圓餘にして、前年度に比較するときは數量に於て三割一分一厘、代金に於て三割三分二厘增加を示せり。本種の賣行增加せるは一般の經濟界好況に向ひたると、輸入葉卷の供給不足に代用せられたるものにして、就中上級品たるイムペリアルスは前年度より八割增加の最高率を示し、ベルフエクトス・セニヨリタス之に亞げり。次に輸入製造煙草の賣渡狀況を見るに、其の中葉卷煙草の本年度賣渡總數量は百五十萬六千餘本、此の賣渡代金十七萬二千五百六十三圓餘にして、前年度に比し數量に於て四割三分五厘、代金に於て四割四分一厘を增加し、紙卷煙草賣渡總數量千九百六十八萬四千餘本、賣渡代金三十八萬七千五百六十圓餘にして、前年度より數量に於て一割九分二厘、代金に於て二割七分一厘を增加し、刻煙草賣渡總數量二千四百八十貫、代金六萬五百二十九圓餘にして、前年度に比し數量に於て一割三分、代金に於て七分八厘を增加せり。前年度迄不況を繼續し年々賣行數を減少せし輸入葉卷煙草も、都會地の好況に依り忽ち賣行を增進し、時局の爲め供給不足なりしに拘らず前年度に比し殆ど五割に近き增加を呈せり。輸入紙卷煙草も著しく好況にして賣行增加せしも、輸入杜絕又は遲延の爲め約二割の增加に止まれり。又刻煙草中の好況品にも多數供給不足品ありて、增加率比較的少額に終れり。

**（八）煙草輸移出**

本年度に於ける製造煙草の輸出用賣渡は口付紙卷煙草數量二百九十四萬本、代金五千百十六圓、兩切紙卷煙草數量一億七千七百三十九萬本、代金四十二萬六千二百十九圓、刻煙草千三百七十四貫、代金一萬一千七百十七圓、葉卷煙草數量五千本、代金百七十九圓、代金合計四十四萬三千二百三十一圓にして、移出用賣渡は口付紙卷煙草數量四億千八百四十八萬本、代金五十六萬八千三百六圓、兩切紙卷煙草四百七十七萬五千本、代金四千八百四十七圓、刻煙草數量二萬千九百四十貫、代金九萬二千七百四十九圓、代金合計六十六萬五千九百二圓なりとす。今輸出及移出を合計すれば賣渡總代金百十萬九千百三十三圓となり、前年度に比し二割二分四厘を增加し、之を製品別に見れば口付煙草は七厘、兩切煙草は十割六分五厘を增し、刻煙草は一割六分九厘の減を示せり。

## 第二十款　大正六年度

**（一）煙草耕作**

本年度の公示段別は二萬七千九百三十九町歩にして、之に對して耕作許可を與へたるは二十一萬八千八百八十五人、段別二萬六千七百八十七町歩なりき。又試作申請に對し許可を與へたるは七千二百八十九人、段別五百四十三町餘歩にして、兩者を合計するときは二十二萬六千百七十四人、段別二萬七千三百三十町餘歩となり、前年度に比して人員二萬千八人、段別千九百十二町歩を減少せり。而して査定の實績は人員二十二萬二千八百五十二人、段別二萬六千六百五十六町餘歩にして、前年度植付に比し人員二萬四千四十二人、段別二千二百十三町歩の減少を示せり。蓋し時局の影響に伴ひ諸物價及勞銀奔騰停止する所を知らざりし爲め、耕作者は生活上の不安を感じ、他の有利なる對抗產業に移轉せんとする傾向ありて、煙草の耕作志氣振興せざりし結果に外ならず。

本年に於ける作柄の概況を見るに、春季の天候概ね低溫過乾に偏し、煙草種子の發芽及生育を遲延したるも、苗質は比較的健全にして四五月の交より漸次天候の順調に連れ生育速進し、苗床期は概し

て無難なりき。梅雨期の降雨は例年の如く甚しからず、一二地方を除き障碍なきを得たりしも、七月中稀有の旱天に遭遇し、全國を通じて被害尠からず、中にも關東以北は旱害の程度甚しく、加ふるに病蟲害の發生多く、降雹風害等處々に頻發したり。八月に入り天候順に復したるも、旱害激甚なりし地方は容易に恢復の狀なく、九月以降は多濕低冷の天候に偏し、晩作地方は生育漸次旺盛を加へたるも爲に成熟著しく遲れたり。爾來低冷多濕の天候は十一月に亙り、收穫・乾燥に支障尠からざりき。斯の如く本年は煙草の生產季節を通じ兎角天候不順にして、比較的無難なりし四國・九州地方が特に豐作の異例ありし外は多く作柄不良にして、就中品質は本圖に於ける惡出來・乾燥期の障碍等に因り一層不良に陷り、全國を通觀し、平年に比し一段歩當量目に於ては三分の增收を示せるも、一貫匁當價格は六分八厘を低下し、一段歩當收入金に於ては三分八厘の減收を見たり。卽ち本年度總收穫量目は千九十五萬九千六百八十九貫餘（此の內年度內收納濟千四十九萬千六百貫餘、翌年度繰越三十六萬七千九百四十五貫、亡失廢棄九萬九千六百三十二貫、其の他五百十貫）、一段歩當收穫量目四十一貫百匁にして、前年度に比較すれば總收穫量目に於て百八十一萬八千六百三十八貫（一割四分二厘）、平均量目に於て三貫二百匁を減少したり。又一貫匁當平均價格は一圓二十錢五厘にして、前年度より十三錢九厘を增したるも、之れ賠償價格の引上に因るものにして、品質の優秀を語るものに非ざるなり。

### （二）葉煙草收納

大正五年末卽ち六年產葉煙草賠償價格告示當時の狀況は、歐洲戰爭の影響に因り諸物價に騰貴を來し、殊に繭價暴騰の爲め煙草耕作に對する耕作者の意嚮に多少の動搖を來さんとする地方なきにあらざるも、製造原料豐富の際なりしを以て、大正六年產に適用すべき葉煙草賠償價格表は大體据置とし、特殊の事情ある岡山專賣支局管內產作州葉及日野葉の最高等級を一箇等低下し、同時に耕作廢止となりたる種類を削除したるの外、前年の告示賠償價格を襲用することとしたり。然るに大正六年に入りては諸物價の騰貴甚しく、殊に水戶・鹿兒島兩支局管內優良葉產地の如きは諸種の影響に因り耕作上の收支相償はざるの狀況を呈し、延て品質劣下の虞あるのみならず、中等葉產地との權衡上引上の必要を生じたるを以て、同年七月上級品に對し諸物價及賃銀の騰貴は益〻甚しく當時の賠償價格を以てしては全國各種類共生產費を償ふ能はざるのみならず、對抗作物及產業の收益增大し、此の儘推移するときは翌年以降煙草耕作段別の減少著しかるべく、從て製造原料に多大の不足を生ずるの虞あるに至れるを以て、同年八月葉煙草賠償價格を改正し、同時に種類別等級の引上を爲したり。

大正六年度中の生產葉煙草豫定量目は千百六十七萬五千二百餘貫匁、此の賠償金千二百七十四萬三千八百餘圓にして、此の內翌年度繰越見込二十三萬八千二百餘貫、此の賠償金千二百五十五萬五千八百餘圓と、古引き、本年度內に收納すべきは新葉千百四十三萬七千餘貫、賠償金千二百七十一萬千餘貫、賠償金千二百七十六萬葉二十七萬四千餘貫、賠償金二十萬四千八百餘圓を合せ千百七十一萬千餘貫、賠償金千二百七十六萬六百餘圓と計畫せり。而して收納の實績は古葉二十八萬三百餘貫、此の賠償金十七萬九千百餘圓、新葉千四十九萬千六百餘貫、此の賠償金千二百六十四萬金千二百八十二萬五千八百餘圓にして、前年度に比し量目に於て百九十九萬二千二百餘貫匁、賠償金に於て六十二萬千七百餘圓の減少を示せり。

### （三）葉煙草輸入

本年度に於ける外國產葉煙草の購買高は數量二十二萬三千五百二十貫、價格百六十一萬八千六十四圓にして、前年度に比し數量十四萬二千二百七十九貫、價格百二十九萬四千四百十一圓を激增したり。購買高の最も多きは米國葉の數量二十萬九千八百六十六貫、價格百五十一萬九千八百三十四圓にして、之に亞ぐを土耳古・馬尼剌・ビルマ・ハバナ葉の順位とす。米國葉は前年度に比し數量十四萬九千九百九十六貫（三十五割一分）、價格百二十七萬八千二百三十九圓（六十二割九分）を增加したるが、此の原因は兩切紙卷煙草の需要增進に伴ひ、多額の準備原料を要したるに因るものにして、殊に價格增進率の多きは米國に於ける市價の騰貴したる結果に外ならず。土耳古葉も多少增加したるが、右は比較的高價なる埃及式金口紙卷煙草が、經濟界の好況に伴ひ需要增加したるを以て、多額の原料を要したるに因る。ハバナ葉は前年度に比し大差なく、ビルマ葉は米葉の補充原料として試驗的に購買したるものとす。

（四）葉煙草輸移出

本年度に於ける輸移出用葉煙草の賣渡高は數量百四十三萬二千百六十三貫、價格百五十五萬八千八百十三圓にして、之を前年度と比較するに數量七十四萬二千三百七十六貫（十割七分）、價格九十二萬千八百二十八圓（十四割四分）の大增加なりとす。斯く引續き好況を持したるは、歐洲戰亂の爲め各國共に葉煙草の產額舊に復せざること、及土耳古竝に希臘產葉煙草の價格益〻騰貴せるとに因り、比較的廉價なる本邦產葉煙草の需要漸く多きを加へたるに基く。輸移出先の主なるものは埃及を第一位とし、其の他は米國・朝鮮・支那・英國・佛國・伊太利・濠洲・露國等にして、米國・露國・伊太利・濠洲の四箇國は本年度に於て始めて輸出を見たるものなり。

（五）煙草製造

本年度に於て煙草製造の爲め使用したる葉煙草の原量目は千百八十萬二千九百二十九貫餘にして、解包調理の結果千百四萬六千五百四十一貫餘となり、差引七十五萬六千三百八十七貫（六分四厘）の缺減を生じたり。今之を前年度に比するときは、原量目六十五萬八千三百五十八貫餘、實量目五十七萬八千六百十一貫餘、缺減量目七萬九千七百四十七貫餘を各〻增加せり。

本年度に於ける煙草製造高（更裝品數量を含む）は、口付紙卷煙草八十三億五百八十一萬三千二百四十本、兩切紙卷煙草二十六億三千九百八十九萬三千二百六十本、葉卷煙草二百二十六萬六千八百七十本、刻煙草六百四十九萬八千四百七十三貫にして、之を前年度に對比すれば口付紙卷煙草に在りては十九億七千二百九十萬四千四百二十本、兩切紙卷煙草に在りては三億九千七百四十六萬七千九百本、葉卷煙草に在りては百八萬六千四百八十本、刻煙草に在りては七萬三千二百二十八貫を增加し、口付及葉卷煙草の製造數量は事業開始以來未曾有の多額に達したり。

右の如く紙卷煙草の需要は漸次增加し、就中口付紙卷煙草は前年度に比し三割餘の多額に上り、爲に其の製造力に不足を告ぐるに至れるを以て、先づ在來工場の設備擴張を行ひたるも、尙ほ需要の激增に應ずること能はざるに因り、更に淺草及仙臺支局に於て製造を開始し、芝及鹿兒島支局に工場を增設し、以て需給の圓滑を期したり。

（六）煙草輸入

本年度に於ける外國製造煙草の購買高は紙卷二千三百九十五萬八千九百三十五本、代金十四萬九千五百四十一圓、葉卷九十二萬六千五十本、代金三萬八千四百十五圓、刻千七百四十貫五百餘匁、代金一

萬九千百十圓、代金合計二十萬七千六十七圓（外に年度内未納額八萬四千百八十五圓あり）にして、前年度代金合計に比し五萬六千十二圓（三割七分）、前々年度に比し十一萬三千八百五十五圓（十二割二分）の増加を來せり。斯く兩年度に比し多大の増加を爲したる理由は、一般財界の景況に伴ひ賣行益〻増進したる爲め購買數量を増加したるに在り。然れども時局の爲め、獨逸、白耳義、和蘭製品は依然輸入杜絶し、其の他の諸國に於ても材料品の拂底及船腹の不足等に因り、輸入數量に著しき減少を見たるものあり。

### (七)　煙草販賣

本年度に於ける經濟界は時局の影響を受けて各種の生產事業は到る處に物興し、都會地は勿論山間僻邑に至る迄商工業未曾有の殷賑を極め、地方農村も亦農作物の豐穰竝に價格の昂騰に加へ蠶絲業空前の好況にして、其の他の副業及漁業、鑛業等一として好況ならざるはなく、都鄙を通じて購買力増進せし爲め、煙草の賣行も亦此等の好況と相俟ちて嗜好の向上及消費の増加に因り頗る盛況を極め、十二月一日より實施せられたる定價引上も豫想に反し其の影響薄く、實に空前の賣行を見るに至れり。即ち本年度内地賣渡總代金は一億百五十四萬三千七百九十圓にして前年度に比するときは二割六厘の増加なるが、賣渡代金は多少定價改正の影響あるを以て姑く之を措き、賣渡數量のみに就て見るも、内地販賣高は卷煙草百二億八千七百七十一萬二千本、刻煙草六百七十萬七百九十五貫にして、前年度に比するときは卷煙草は實に二割四分一厘を増加し、刻煙草亦六分八厘の増加を示せり。今各種類別に之が概況を敍ぶれば、先づ内國製口付紙卷煙草の本年度内地賣渡高は七十八億一千六百七萬七千本、此の賣渡代金三千三百九十八萬四千七百二十九圓にして、前年度に比し數量に於て二割五分、代金に於て三割三分を増加せり。口付中最も優勢なるは依然敷島にして、總數量の六割一分八厘を占め、前年度に比し二割八厘を増加したり。朝日は品種別賣行比例に於ては未だ全數量の三割四厘に過ぎずと雖も、冲天の勢を以て需要を激増し、其の賣行高は前年度に比するときは實に五割三分を増加し、定價改正後は購買至便なる爲め一層人氣を増し、殆ど其の發展の程度を知らざるの盛況なり。其の他前年度に比し著しく増加したるは國華、大和、「たつ田」の四割二分以上を始め、不二の三割五分、「やよひ」の二割六分、カメリヤの一割二分にして、製造廢止品を除けば何れも賣行を増加せり。從來賣行捗々しからざる品種が右の如く破格の需要を喚起したるは、國民生活程度の昂上に基く嗜好の推移に因るべしと雖も、又供給不足勝ちなりし朝日、敷島の補充品として賣行ありしことも其の副因たりと謂ひ得べし。次に兩切紙卷煙草の本年度内地賣渡高は二十四億四千五百四十四萬三千本、賣渡代金千九十二萬三千八百三十二圓にして、前年度に比するときは數量に於て二割一分三厘、代金に於て三割七厘を増加したり。兩切も大體口付同樣賣行旺盛を極めたるも、其の中ゴールデンバットは定價改正後は購買上多少不便を感ずるに至りしにも拘らず、尚ほ前年度に比較し二割一分六厘を増加し、依然兩切の大宗として好況を持續したり。「ほまれ」はゴールデンバットに亞ぐの好況品にして、其の販途が軍隊内に制限せらるるにも拘らず、前年度に比し六分九厘を増加せり。從來存在を認められざりし蝴蝶も漸次聲價を現し、定價改正後は一層需要を喚起して、前年度に比するときは九割以上を増加したり。其の他前年度に比し著しく賣行増加せるはスターの六割七分六厘、リリーの四割、エアーシップの五割八分八厘にして、オリエントは定價改正後は購買上多少不便を感ずるに至りしにも拘らず、尚ほ前年度に比較し二割一分六厘を増加したり。「ほまれ」はゴールデンバットに亞ぐの好況品にして、其の販途が軍隊内に制限せらるるにも拘らず、前年度に比し六分九厘を増加せり。從來存在を認められざりし蝴蝶も漸次聲價を現し、定價改正後は一層需要を喚起して、前年度に比するときは九割以上を増加したり。其の他前年度に比し著しく賣行増加せるはスターの六割七分六厘、リリーの四割、エアーシップの五割八分八厘にして、オリエント以上の品種も亦都會地の殷盛と輸入紙卷煙草の供給不充分との爲め賣行旺盛を極めたるも、原料葉煙草の輸入不如意にして生產高僅少なりし爲め、アルマに於て一割二分の減少を示し、其の他に於ても七分八厘乃至一割四分の増加に止まれり。刻煙

草の本年度內地賣渡高は六百六十九萬八千百一貫、此の賣渡代金五千五百七十五萬二千三百六十七圓にして、前年度に比し數量に於て六分八厘、代金に於て一割二分三厘を增加し、大體に於て好況なるを認めたるも、其の增進程度は卷煙草に比し遜色あるが如し。之を品種別に見るに、本年度は中級品以上の增進率著しく高く、前年度に比し「あやめ」は一割三分、「さつき」は一割六分、白梅は九分二厘の增加を示し、福壽草以上の高級品にありては一割四分乃至二割四分の增加を示したり。之に反して下級品の增進率は甚だ低くして、「はぎ」、「なでしこ」は前年度に比し僅に三分の增加に過ぎず、富貴煙は六分四厘の減少を呈するに至れり。之れ一般經濟界の好況に因り國民生活程度の向上を來し、漸次下級品より上級品に嗜好推移したるに基くものなり。內國製葉卷煙草の本年度賣渡高は二百二十一萬四千本、賣渡代金十一萬五千六百四十七圓にして、前年度に比するときは數量に於て十割二厘、代金に於て十二割五分二厘の增加を示せり。本品種の賣行增進せるは一般經濟界の活況と輸入葉卷の供給充分ならざりし爲め、之が代用品として各品種に亙り需要激增したるに出づるものにして、高級品イムペリアルスは前年度に比し二十二割八分を增加し、ロンドレスの六割三分七厘を最低として、其の他は何れも十割以上の增進を示したり。次に輸入製造煙草の賣行を見るに、其の中葉卷煙草の本年度賣渡數量は百七十七萬二千本、此の賣渡代金二十一萬五千四百六圓にして、前年度に比し數量に於て一割七分七厘、代金に於て二割四分八厘を增加し、紙卷煙草賣渡總數量は二千二百二十萬三千本代金四十七萬五千四百三十三圓にして、前年度より數量一割二分八厘、代金二割二分七厘を增加し、刻煙草賣渡總數量は二千五百七十六貫、代金七萬四千二百八十一圓にして、前年度より數量三分九厘、代金二割二分七厘を增加し、板煙草賣渡數量は百十七貫、代金二千九十一圓にして、前年度に比し數量に於て七分一厘を減少し、代金に於ては三厘を增加せり。輸入煙草は本年度に入りて一層需要激增せしも、時局の爲め輸入杜絕又は遲滯品多く、供給を圓滑ならしむる能はざりしに拘らず、尙ほ前年度に比するときは右の如き賣行增加の成績を收むるを得たり。

### （八）煙草輸移出

本年度に於ける製造煙草の輸出用賣渡高は口付紙卷煙草九百二十四萬本、代金一萬六千圓、兩切紙卷煙草二億四千百三十七萬一千本、代金五十七萬三千七百三十六圓、刻煙草千七百八十貫、代金一萬六千六百八十八圓、代金合計六十萬六千四百二十四圓にして、同上移出用賣渡高は口付紙卷煙草四億五千六百四十二萬本、代金六十四萬七千五百十七圓、兩切紙卷煙草八百三萬五千本、代金九千六百六十九圓、刻煙草二萬八千六百六貫、代金十二萬七千四百四十七圓、代金合計七十八萬四千六百三十三圓なりとす。今輸出用及移出用賣渡代金を總計すれば百三十九萬千五十七圓となり、前年度に對比するに二割五分四厘の增加なりとす。之を種類別に見れば口付煙草は一割五分七厘、兩切煙草は三割五分九厘の增加なり。

## 第二十一款　大正七年度

### （一）煙草耕作

大正七年度の葉煙草耕作は時局の影響を蒙ること甚しく、一般經濟界の變調に伴ふ諸物價の奔騰と勞銀高とに因る對抗產業の旺盛の爲め、煙草耕作は漸次萎靡衰退の傾向ありしを以て屢〻賠償價格の引上を行ひ耕作奬勵に努めたるも、當初の豫定段別二萬八千三百八十三町步に對し、耕作及試作の

許可を與へたるものは二萬六千三百八十五町歩にして、査定の實蹟は二萬四千四百三十九町歩となり、前年度の實蹟に比し二千二百十七町歩を減するに至れり。

本年の作柄を通觀するに苗床期に於ては春寒の爲め一般に播種及發芽稍〻遲れ、且つ發芽後も氣溫概して低く一般に苗の生育を阻害し、又前作麥の成熟遲延したる爲め從て移植期を遲延したるもの少からず。殊に鹿兒島地方は前年末より異例なる寒氣の爲め苗の發育著しく不良に陷り、且つ移植に際し支障少からざりき。然るに其の後五六月に至りて天候概ね順調なりしを以て植付後の生育概して良好となり、前作麥の成熟遲延の關係上手入作業の遲れたる地方なきにあらざるも、一般を通するときは稍〻豐作を豫想せらるる作柄なりしが、七月中旬及下旬の兩度に暴風雨の襲來あり、當時生育の盛期なりしを以て神戸以西を主として少からざる被害あり、且つ同月中關東方面を除く各地方に旱天連續の爲め生育遲々として進まず、其の後潤雨を得て多少生育を挽回せりと雖も、旱害激甚なりし產地は遂に恢復充分ならざりしものありたり。

作地の多くは生育出來戻りしも成熟期甚しく遲延し、尙ほ九月上旬に九州、四國、中國に亙り暴風水害あり、是れ亦晩作產地に影響を及ぼし、且つ乾燥經過良好ならず、爲に本年作柄は全國各產地を通ずるときは、大體に於て名古屋以東（淺草、高崎、仙臺、山形を除く）稍〻良好なりしも、金澤以西の各產地特に九州方面は甚しく不良にして、結局全國平均に於て平年作に比し、收量三分二厘、品質三分減の不作に終れり。

即ち本年度葉總收穫量目は九百六十五萬三十五貫餘（此の內年度內收納濟九百二十八萬千九百十八貫、翌年度繰越二十二萬千七百四十三貫、亡失廢棄十四萬六千三十八貫、其の他三百三十四貫）、一段步當收穫量目三十九貫五百匁にして、前年度に比較すれば總收穫量目に於て百三十萬九千六百五十四貫、平均量目に於て一貫六百匁を減少したり。又新葉平均一貫匁當賠償價格は二圓二錢九厘にして、前年度より八十二錢四厘を激增したるも、是れ專ら賠償價格引上に因るものにして、品質の優秀を證するものに非ざるなり。

### （二）葉煙草收納

大正七年に入り諸物價の騰貴益〻甚しく、米價の如き未曾有の高値を現出して煙草生產費の增嵩を來し、對抗產業の利益は益〻增加して全國一般煙草耕作に對する氣勢著しく衰へ、本年の公示段別を充たすこと能はざるに至りしを以て、移植に先ち各種類に對し二箇等の引上を爲すと同時に賠償價格の改定を斷行し、以て一時耕作者の意嚮を緩和したり。然れども、其の後に於ても諸物價及賃銀は愈〻高騰し、殊に肥料代及米價の騰貴は著しく生產費の增加を來し、收支計算上多大の損失を釀すに至りしのみならず、他面製品の需要は益〻激增し、耕作段別の大擴張を要すること必至となりしを以て、政府は七年九月收納に先ち、全國各種類に對し更に約二箇等の引上を行ひたり。

本年度收納豫定高は量目千二百八十一萬七千二百二十八貫匁、此の所要賠償金千六百二十七萬七千八百二十三圓の見込なりしも、收納の實蹟は新葉量目九百二十八萬千九百十九貫匁、此の賠償金二十八萬四千二百九十三圓、合計量目九百六十八萬千二百七十四貫匁、此の賠償金千九百十一萬四千八百三圓にして、豫定に對し量目に於て二割餘の減差を生じたるに反し、賠償金に於ては却て一割七分四厘の增加を見るに至れり。量目の減少は時局の影響に因り耕作者が耕作段別を減少したるに基因し、賠償金の增加は收穫時期の天候順調にして比較的優良葉の產出を多からしめたると、賠償價格引上の結果なりとす。

### （三）葉煙草輸入

本年度に於ける外國產葉煙草の購買高は數量四十七萬七千三百九十一圓、價格三百萬九千三百四圓にして、前年度に比し數量に於て二十五萬三千八百七十一貫、價格に於て百九萬千二百四十圓を激増したり。購買高の最も多きは米國葉の二十二萬二千九百六十一貫、二百十三萬九千百四十一圓にして、支那葉の十四萬七千四百九十六貫、三十六萬九十五圓之に亞ぎ、馬尼剌・ピルマ・土耳古葉等亦比較的多量に購買せられたり。本年度に於て斯く多量の購買を必要とせる所以のものは、各種煙草需要の激増に對し內地葉煙草の生產之に伴はざる結果、其の不足原料を海外より輸入し以て需給の調節を圖りたるに因る。

**（四）葉煙草輸移出**

本年度に於ける葉煙草の輸出及移出高は朝鮮を第一位とし、之に亞ぐものを支那・埃及・臺灣・米國の順位とす。總賣渡高は數量四十一萬六千五百十四貫、價格五十七萬二千百十二圓にして、前年度に比較し數量百一萬五千六百四十九貫（七割九厘强）、價格九十八萬六千七百一圓（六割三分三厘弱）を減せり。斯く激減したるは內地に於ける製造煙草の需要著しく增加の爲め其の製造原料に多額を要し、朝鮮・臺灣へ仕向けたる移出の外は一般の輸出を差控へたるに因る。

**（五）煙草製造**

本年度に於て煙草製造の爲め使用したる葉煙草の原量目は千三百十八萬七千三百八十二貫餘にして、解包調理の結果千二百三十八萬四百十二貫となり、差引八十萬六千九百七十貫（六分一厘）の缺減を生せり。今之を前年度に比すれば、原量目に於て百三十八萬四千四百五十三貫、實量目に於て百三十三萬三千八百七十一貫、缺減量目に於て五萬五百八十三貫を增加せり。

本年度に於ける煙草製造高（更裝品數量を含む）は口付紙卷煙草百十二億五千六百三十一萬八千三百本、兩切紙卷煙草三十一億千二十一萬八百六十本、葉卷煙草二百五十七萬本、刻煙草六百九十四萬五千百九十六貫にして、之を前年度に對比すれば、口付紙卷煙草に在りては二十九億五千五十萬五千六十本、兩切紙卷煙草に在りては四億七千三十一萬七千六百本、葉卷煙草に在りては三十萬百三十本、刻煙草に在りては四十四萬六千七百二十三貫を增加し、卷煙草の製造數量は事業開始以來の最高額を示せり。

上述の如く卷煙草の需要增加し、就中口付紙卷煙草は前年度に比し實に三割六分增の多額に上り爲に製造力に不足を告ぐるに至れるを以て、在來工場の設備擴張を行ふと共に、更に淺草・淀橋・名古屋及大阪支局に於て民有建物を賃借し、京都支局に於て官有倉庫を利用して假設的分工場を設置し、以て供給の圓滿を期したり。

**（六）煙草輸入**

本年度に於ける外國製造煙草の購買高は紙卷三千百九十八萬六千九十本、代金二十四萬六千二百七十四圓、葉卷百六十萬八千七百本、代金七萬八千二百九十三圓、刻二千二百七十六貫餘、代金二萬七千八百九十四圓、代金合計三十五萬二千百九十一圓（外に年度內未納額十萬七百十一圓あり）にして、前年度代金合計に比し十四萬五千百二十五圓卽ち七割强の增加なりとす。

**（七）煙草販賣**

本年度に於ても煙草の賣行は依然好況を持續し、其の內地總賣渡代金は一億二千九百十四萬四千七百四十五圓に達し、前年度に比するときは二割七分二厘の增加を示せり。之を數量上より見れば

卷煙草百三十四億四千九百十七萬四千本、刻煙草六百八十四萬五千九百五十九貫にして、前年度に比し刻煙草は僅に二分二厘の增加に過ぎざるも、卷煙草は實に三割七厘の增加なりとす。更に之を種類別に觀れば、先づ內地製口付紙卷煙草の本年度內地賣渡高は百六億六千八百二十萬九千本、賣渡代金五千百六十四萬四千二百四十一圓にして、前年度に比し數量に於て三割六分五厘、代金に於て五割二分を增加せり。口付中賣行最も優勢なるは敷島にして、總數量の五割五厘を占め、總數量に對する割合は前年に比し一割一分三厘降下せるも、前年度賣渡數量に比すれば一割一分七厘の增加なりとす。前年度來人氣旺盛なる朝日は益〻賣行增加し、品種別賣行比例に於て前年度迄は三割四厘に過ぎざりしが、本年度は一躍四割二分七厘に達し、前年度賣渡實蹟に比するときは實に九割一分三厘の激增となり、將に敷島と比肩せんとするの盛況を呈するに至れり。其の他前年度に比し賣行增加したるは「たつ田」の十割四分五厘、國華の六割九分三厘、不二の五割八分一厘、大和の一割三分六厘、「やよひ」の四分にして、獨りカメリヤは生產關係上前年度に比し一割一分五厘を減少せり。從來賣行捗々しからざりし各品種が斯くの如く需要を喚起したるは、敷島・朝日の供給不足に際し補充品として用ひられたるに因るものと云ふべし。次に兩切紙卷煙草の本年度內地賣渡高は二十七億四千七百十七萬本、賣渡代金千三百九十五萬四千五百五十七圓にして、前年度に比するときは數量に於て一割二分三厘、代金に於て二割七分七厘を增加せり。兩切も亦各品種を通じ口付同樣頗る好況を呈し需要益〻增進せるも、供給常に不足勝にして需要者に十分の滿足を與ふるを得ざりき。今各品種別に就き賣行消長を見るに、ゴールデンバットは各階級より盛に歡迎せられ其の賣行益〻增大し、殆ど底止するところなき盛況なりしが、本年度十月以降錫紙包を省略せる裝置變更品を供給せる爲め、俄然賣行減退するに至れり。玆に於て八年二月に至り漸次裝置復舊品を發賣せしも、之が普及には相當期間を要するのみならず、復舊品の供給寡少なりし關係上、年度內には未だ本品固有の聲價を恢復するに至らず、不振の儘本年度を經過せり。然れども兩切の代表品たる地位には何等變動なく、賣渡總數量の七割五分六厘を占め、前年度の七割九分九厘に對しては四分三厘を減せしも、賣渡數量に於ては六分二厘を增加せり。次に「ほまれ」はゴールデンバットに亞ぐ好況品にして、需要者と供給力とに制限せらるるにも拘らず、前年度に比し一割六分四厘を增加せり。其の他前年度に比し著しく賣行增加したるは、蝶の二十六割二分九厘を始めとし、ナイルの十一割六分二厘、アルマの十一割二分九厘にして、其の他スターの七割八分九厘、オリエントの四割四分九厘、エアーシップの三割九厘、リリーの二割九分等、一として增率を示さざるものなき好成績を收むることを得たり。又刻煙草の本年度內地賣渡高は六百八十四萬三千八百六十貫、代金六千二百三十萬四千四百二圓にして、前年度に比し數量に於て二分二厘、代金に於て一割一分八厘を增加し、大體に於ては好況と云ふを得べきも、卷煙草の如く大なる增加率を示すに至らざるは、消費者の大部分が地方農村に在りて、其の需要比較的固定せるに基くものなり。賣行の最も優勢なるは依然「はぎ」にして、全數量の四割二分五厘を占め、前年度賣渡實蹟に比すれば五分六厘を減少せるも、刻中の第一位を占むるは前年度と變りなし。其の他の品種は一として賣行減退せるものなく、前年度實蹟に比し、あやめ「九分七厘、「なでしこ」八分七厘、「さつき」一割一分六厘、白梅四分、富貴煙一割七分一厘、福壽草二割七分五厘、水府二割一分六厘、薩摩刻三割六分四厘の增加にして而も「あやめ」以上の高級品に於て增加率の比較的大なるは、國民生活程度の向上に伴ひ漸次下級品より上級品に嗜好推移の跡歷然たるものあるを知るべし。更に又內國製葉卷煙草の本年度賣渡高は

二百六十九萬本、此の賣渡代金十六萬三千二百三十圓にして、前年度に比するときは數量に於て二割一分五厘、代金に於て四割一分一厘を增加せり。前年に比し賣行率の最も增加せるはブリンセサスの七割五分六厘にして、レガリヤの五割六分之に亞ぎ、ベルフェクトス四割三厘、オリエンタレス三割四分四厘、イムペリアルス三割三分九厘、ロンドレス一割八分二厘、セニヨリタス一割六分三厘にして下級品に比し高級品の賣行增加を示せり。次に輸入製造煙草の賣行を見るに、其の中葉卷煙草の本年度賣渡數量は二百十六萬八千二百五十四本、賣渡代金二十九萬六千五十八圓にして、前年度に比し數量に於て二割二分三厘、代金に於て三割七分四厘を增加し、紙卷煙草賣渡總數量は二千八百九十三萬五千本、代金七十一萬四千八百三十三圓にして、前年度より數量に於て三割三厘、代金に於て五割四厘を增加し、刻煙草賣渡數量は千九百七十三貫、代金六萬四千八百二十八圓にして、前年度より數量二割三分四厘、代金一割二分七厘を各〻減少し、板煙草賣渡數量は百二十五貫、代金二千五百九十二圓にして、前年度に比し數量に於て六分八厘、代金に於て二割四分を增加せり。

**(八)　煙草輸移出**

本年度に於ける製造煙草の輸出用賣渡高は口付紙卷煙草千十二萬本、代金一萬九千百四十七圓、兩切紙卷煙草二億二千二百五十一萬九千本、代金六十六萬千八百五十一圓、刻煙草二千八十四貫、代金二萬二百一圓、代金合計七十萬千二百圓にして、同上移出用賣渡高は口付紙卷煙草四億八千八百四十萬本、代金七十四萬五千八十六圓、兩切紙卷煙草九百五十五萬本、代金一萬千五百三十一圓、刻煙草三萬千二百二十八圓、代金十五萬三千九百五十八圓、代金合計九十一萬五百七十五圓なりとす。今輸出用及移出用賣渡代金を總計すれば百六十一萬千七百七十五圓となり、前年度に比し二十二萬七百十八圓（一割五分八厘）を增加し、之を製品別に比較するに、口付紙卷煙草は數量三千二百八十六萬本（七分强）、代金十萬七百十六圓（一割五分二厘弱）を、刻煙草は數量四千九百二十六貫（一割六分二厘弱）、代金三萬二十五圓（二割八厘强）を各〻增加し、又兩切紙卷煙草は數量千六百三十三萬七千本（六分六厘弱）を減じたるも、代金に於ては八萬九千五百七十七圓（一割五分四厘强）の增加を示せり。

## 第二十二款　大正八年度

**(一)　煙草耕作**

煙草耕作は時局の影響を受け前年度に於て著しく段別減退し、需要量目の充實困難なりしに反し製品の賣行は益〻增大したるに因り、大正八年度は段別の大擴張を必要とせり。然るに煙草產地は依然萎靡振はず、且つ諸物價の騰貴勞力の缺乏相踵ぎ、耕作の脅威愈〻甚しく振興容易ならざる狀況なりしが、政府は更に賠償價格の引上を斷行して諸物價との權衡を保持し、一面段別增加奬勵の方策として煙草耕作組合に耕作補助金を給與して銳意組合機關の活動を促し、又不便と認むる地方には煙草取扱所を特設して納付上の便益を與へ、大に增作の勸奬に努めたる爲め、當業者の意嚮概ね恢復し著大勢を挽回し得たるも、世上好景氣の影響は仍ほ阻止するに由なく、當初の耕試作豫定段別三萬二千七百八十二町步餘に對し、許可段別は三萬一千七百七十三町步餘となり、その實蹟段別は更に減じて三萬八百七十八町步餘となるに至れり。然れども之を前年の實蹟段別たる二萬四千四百三十九町步餘に比すれば、六千四百三十九町步餘の增加にして、畢竟如上施設の效果の多大なりしを認むるを得べし。

大正八年に於ける煙草作柄を通觀するに、一二月は低溫なりし爲め早作產地の苗床設備に多少支障を及ぼしたるも、三月に入り氣溫頓に上昇し、四月亦高溫にして、岡山支局管內に於て病害發生し生育不良なりしを除き、苗は概ね順調に發芽及生育を遂げたり。而して五月の天候は晴爽に失し、地方に依りては植付作業に支障を及ぼし、且つ又溫度の變化著しき等兎角氣候不順にして、多くは生育阻害の傾向を呈したるが、六月中は九州方面に豪雨ありし外著しき影響なく、寧ろ梅雨期中降雨の恩澤を享け、概して生育佳良なりき。次いで七月上旬西部地方豪雨の被害ありしも、引續き全國一般晴爽高溫を持續し、多少旱害を被りしが、其の後天候順調と共に概して生育を挽回し、八月中旬九州中國に暴風雨襲來して多少の被害を見たれども、九月初旬恰適の天候となり、爾來或は陰霖の天候に傾き乾燥上多少の支障なきにあらざりしも大體順調を失はず、晩作產地の生育及早作產地の乾燥經過を良好ならしめたり。要するに本年は耕作期中天候の障碍を受くること輕く、產地に依り多少の相違あれども、一段步當收量は金澤・神戸・廣島・池田・鹿兒島管內に於て僅に平年作に下りたる外、何れも相當の增收を示し、品質亦概して良好にして、一貫目當價格に於ては見付管內に輕微の減差を示せるに止まり、全國平均に於ては平年作に比し一段步當量目六分、一貫目當價格一割强の向上を示せり。卽ち本年度葉總收穫量目は千三百七十一萬一千餘貫（內年度內收納濟千三百四十一萬九千八百六十九貫、翌年度繰越二十四萬八千四百八十四貫、亡失廢棄四萬二千九百二十五貫、其の他六百七十七貫）、一段步當收穫量目四十四貫四百匁にして、前年度に比較すれば總收穫量目に於て四百六萬一千餘貫（四割二分一厘）、平均量目に於て四貫九百匁を增加せり。又新葉一貫匁當賠償價格は三圓十錢三厘にして、前年度より一圓七錢四厘を激增したり。是れ前記の如く概して品質の優良なりしと、賠償價格の引上とに基因するものなり。

### （二）葉煙草收納

歐洲大戰以來年と共に昂騰せる物價及賃銀は、前年末休戰條約の成立に至るも低落の氣配なく却て益〻騰貴し、殊に肥料代金及人夫賃銀の昂騰は煙草作の生產費に著しき增加を來し、收支計算上大なる損失を蒙るものあるに至れり。之に反して對抗產業たる養蠶は生絲の暴騰に因り各地共收益著しく增大し、其の他水陸稻・甘藷・蒟蒻・落花生・蔬菜等の對抗作物は一として好況ならざるはなく、加之食糧補充政策に基く地方當局の食用作物の奬勵及農業勞働力の減少等に依り、煙草耕作に對する人氣益〻不振となり、煙草作を棄てて他作物に轉せんとする者愈〻增加の傾向を示せり。然るに一方製品の需要は增大し、耕作段別に多大の增加を要するに至れるに因り、大正七年十二月及八年八月に於て賠償價格を引上ぐると共に等級表の改正を行ひ、以て斯業の振興に努めたり。

本年度收納豫定高は量目千四百三十五萬四千餘貫、此の所要賠償金三千二十九萬六千餘圓の見込なりしも、收納の實績は新葉量目千三百四十一萬九千餘貫、賠償金四千百六十四萬四千餘圓、古葉量目二十三萬八千餘貫、賠償金三十六萬七千餘圓、合計量目千三百六十五萬八千餘貫、賠償金四千二百一萬二千餘圓にして、豫定に比し量目は四分九厘を減少したるも、賠償金は三割八分七厘の增加を見るに至れり。量目の減少は當初の豫定に比し耕作段別の減少したるに基因し、賠償金の增加は收穫及乾燥時期の天候適順にして比較的優良葉の產出多額なりしと、賠償價格の引上ありしとに因るものとす。

### （三）葉煙草輸入

本年度に於ける外國產葉煙草の購買高は數量百三十二萬四千七百八十一貫、價格五百五十二萬九

千八十四圓に達し、前年度に比し數量約三倍、價格約二倍の激增を示せり。購買高の最も多きは支那葉の數量八十六萬二千百五十二貫、價格二百二十八萬六千六百十八圓にして、馬尼剌葉の二十三萬六千七百六十六貫、六十九萬九千六百七十七圓、米國葉の十八萬八千三百十二貫、二百三十一萬六千三百六十八圓（價格に於ては第一位）之に亞ぎ、ビルマ・朝鮮・スマトラ・土耳古・ハバナ等亦比較的多量に輸入せられたり。

（四）葉煙草輸移出

本年度に於ける葉煙草の輸出及移出用賣渡高は朝鮮を第一位とし、外に臺灣・支那向各若干額ありしに止まれり。總賣渡高は數量十七萬六千四百八十五貫、代金四十八萬七千六百八十三圓にして、前年度に比較するときは數量二十四萬餘貫（五割七分六厘）、價格八萬四千餘圓（一割四分八厘）の減少を示したり。

（五）煙草製造

本年度に於て煙草製造の爲め使用したる葉煙草の原量目は千三百二十一萬九千餘貫にして、解包調理の結果千二百三十四萬二千餘貫となり、差引八十七萬六千餘貫、卽ち原量目に對し六分六厘の缺減を生じたり。之を前年度に比するときは原量目三萬千餘貫を增加し、實量目三萬八千餘貫を減少し、差引缺減量目は六萬九千餘貫を增加せり。

本年度に於ける煙草製造高（更裝品數量を含む）は口付紙卷煙草百四十四億六千六十四萬七千餘本、兩切紙卷煙草二十九億三千二百二十四萬餘本、葉卷煙草三百十八萬千餘本、刻煙草六百六十六萬八千餘貫にして、之を前年度に對比すれば口付紙卷煙草に在りては三十二億四百三十二萬八千餘本、葉卷煙草に在りては六十一萬四千餘本を增加し、兩切紙卷煙草に在りては一億七千七百九十七萬餘本、刻煙草に在りては二十七萬六千餘貫を減少し、口付紙卷及葉卷煙草は事業開始以來未曾有の多額を示せり。

右の如く口付紙卷煙草の製造は近年著しく增加し、前年度は前々年度に比し三割六分を、本年度は前年度に比し二割八分を增加し、之を前々年度に比すれば實に七割八分の巨額に上り、製造力に不足を來せるを以て、新に本年度に入り水戸・宇都宮・郡山・金澤・岡山の五支局及濱松・彥根の兩出張所に於て製造を開始し、尙ほ淺草及芝支局に工場を增設し、以て需要の急に應ずることとなせり。

（六）煙草輸入

本年度に於ける外國製造煙草の購買高は紙卷煙草一億四千四百九十萬九千七百餘本、代金五十九萬六千四百九十六圓、葉卷煙草三百十七萬三百六十一貫八百餘匁、代金四萬四百五十二圓、刻煙草二千六百六十一貫二百餘匁、代金四百四圓、板煙草六十一貫二百餘匁、代金合計八十四千餘圓卽ち十四割二厘强の增加なりとす。

（七）煙草販賣

本年度に入りても經濟界は依然好況を續けたるを以て、都鄙を通じて購買力の增進目覺ましきものあり。此の情勢は煙草に對しても多大の需要を喚起し、八月上旬に於て實施せられたる平均二割二分の煙草定價引上も、賣行上些の影響を與へざるのみならず、經濟界の好況に伴ひ卷煙草の如きは需要益〻增加し、各製造官署に於て如何に增製に努むるも之に應じ得べくもあらず、依然供給の大不足

を持續せり。此の結果なるか、或は八月に於ける定價引上率が他物價騰貴の割合に比し過少の感を抱かしめたる爲なるかは不明なるも、定價引上げ後未だ幾許ならざるに、十月に入りて圖らずも煙草定價再値上げの風說を生じ、其の風說は直に全國に流布せられ、爲めに賣捌人及一般消費者の思惑買を誘致し、小賣人の店頭絕えず卷煙草の影を沒するに至り、消費者よりの批難大に沸騰したり。是を以て各販賣官署に於ては小賣人が消費者に賣渡す一回數量に制限を加ふる等、市場に於ける卷煙草の賣延べ策を講じたるも、斯かる一片の注意的制限の下に完全に一般の買進を防止し得べくもあらず、不足勝なりし卷煙草は益〻其の度を高め、比較的潤澤なりし刻煙草も遂に大不足を來し、全國到る處煙草の大拂底を現出するに至り、煙草商況は寧ろ亂調子に非常の好況を以て本年度を經過せり。卽ち本年度內地賣渡總代金は一億七千二百四十一萬五千餘圓にして、此の代金中には定價引上に因る增加を含むとは云へ、前年度に比すれば實に四千三百二十七萬餘圓（三割三分五厘）の增加なりとす。又數量に於ては內地販賣總高は卷煙草百六十七億四千五百七十八萬九千餘本にして、前年度より三十二億九千六百六十一萬四千餘本（二割四分五厘）を增加し、刻煙草は七百二十萬八千餘貫にして、前年度より三十六萬二千餘貫（五分）を增加せり。今煙草の賣行を各種類別に觀るに、先づ內地製口付紙卷煙草の本年度內地賣渡高は百三十八億六千百二十五萬二千餘本、此の賣渡代金七千六百九十五萬三千餘圓にして、前年度に比し數量に於て三十一億九千三百四萬二千餘本（二割九分九厘）、代金に於て二千五百三十萬九千餘圓（四割九分）を增加せり。本品種の需要は前記の如く益〻增加したるも、製造能力の關係上需要を充たすことを得ず、全年度を通じ供給不足を持續し、市場常に品不足の怨聲を絕たざりしは實に已むを得ざるところなり。口付中賣行最も良好なるは敷島にして、賣渡總數量の四割七分八厘を占め、前年度より二分七厘を減じたるも、數量に於ては十二億三千七百五十三萬九千餘本（二割二分九厘）を增加し、口付中の首腦品たり。之に亞ぐは朝日の四割六分八厘にして、前年度より三分九厘を增加し、數量に於ては實に十九億千三百三十五萬三千餘本（四割二分一厘）の增加にして、一時敷島を凌駕せんとする勢を示したり。其の他の各品の賣行歩合は併せて五分六厘にして、敷島・朝日の補充として購買せらるるものに過ぎず。前年度に比し賣行增加したるは「やよひ」の四割七分七厘、大和の九分八厘、不二の一分二厘、國華の三厘にして、生產關係に因り減少を示したるは「たつ田」の一割八分七厘、カメリヤの六分七厘なり。又兩切紙卷煙草の本年度內地賣渡高は二十七億九千九百七十四萬七千餘本此の代金千五百九十九萬七千餘圓にして、前年度に比すれば數量に於て五千二百五十七萬七千餘本（二分九厘）、代金に於て二百四萬三千餘圓（一割四分六厘）を增加せり。兩切も口付同樣需要頗る旺盛なりしも、是れ亦常に供給不足勝にして一般需要者に滿足を與ふることを得ざりき。兩切中賣行最も大なるはゴールデンバットにして全數量の七割四厘を占めて、兩切の代表たる位置には變りなきも、本品は前年度十月內裝用錫紙廢止後賣行俄然減退したるを以て、翌年二月に至り裝置を復舊したるが、其の供給數量過少なりし爲め不況狀態の儘本年度に入り、聲價恢復に約四箇月を要して八月に至り漸く好況となり、從て其の賣行歩合に於て前年度より五分一厘（數量一億六百六十三萬八千餘本）を減少したり。バットに亞いで賣行好況なるは「ほまれ」にして、概して供給不足なりしも、前年度に比較すれば一割一分五厘を增加せり。其の他の各品の賣行歩合は合せて一割五分四厘にして、前年度に比し賣行增加せるはナイルの九割二分七厘、エアーシップの八割九分七厘、蝴蝶の五割三分二厘、ヂリーの二割七分三厘にして、賣行減少せるはアルマの九分九厘、オリエントの二分一厘なり。蓋し右二種の減少は不

評に因るに非ずして、全く製造關係に因る供給不足の結果なりき。尙ほ本年末に於て新製品ピースを發賣せしが、年度內賣渡數量僅々百四十九萬五千餘本にして、全國に普及するに至らずして本年度を經過したり。更に刻煙草の本年度內地賣渡高は七百二十萬五千餘貫、此の賣渡代金七千六百八十三萬餘圓にして、前年度に比し數量に於て三十六萬千餘貫（五分三厘）、代金に於て千四百五十二萬五千餘圓（二割三分三厘）を增加せり。刻煙草は數年來逐年賣渡數量を增加せしも、未だ七百萬貫を突破したることなかりしが、本年度は之を超過すること實に二十萬貫以上に達し、未曾有の賣行を見たり。之れ多少は消費量の自然增加を含むべしと雖も、本年度後半期より煙草定價再值上の風說に煽られ、賣捌人及一般消費者が多大の買進みを爲したるに主因するものと言ふべし。刻中賣行最も優勢なるは依然「はぎ」にして全數量の三割九分二厘を占め、之に亞ぐ好況品は「あやめ」の二割八分一厘なり。其の他は「さつき」「なでしこ」の各一割五分、降りて白梅の二分一厘、富貴煙三厘、福壽草二厘、水府・薩摩刻合して一厘の賣行歩合なり。尙ほ前年度に對する賣行歩合の增減を見るに、「はぎ」「なでしこ」「富貴煙の三種減少し、其の他各品共增加を示し、就中「さつき」以上の上級品に於ては二割二分以上六割五分の增加を示せり。內國製造葉卷煙草の本年度賣渡高は三百十五萬七千餘本（一割七分四厘）、代金に於て七萬千餘圓（四割三分五厘）を增加せり。之れ全く一般經濟界の好況と輸入葉卷煙草の供給不足との結果にして、前年度に比し一品として賣行增加せざるはなく、其の增加歩合は七分五厘乃至五割一分五厘を示せり。次に輸入製造煙草の賣行を見るに、之れ亦經濟界の好況に伴ひ各種共需要益〻旺盛なりしも、依然品不足及到着遲延等の爲め輸入意の如くならず、供給不圓滑を免れざりき。其の中葉卷煙草の本年度賣渡高は二百九十一萬五千餘本、此の代金六十萬七千餘圓（十割五分二厘）を增加し、紙卷煙草の賣渡高は七千八百七十一萬五千餘本、此の代金百六十六萬千餘圓にして、前年度に比し數量に於て四千九百七十八萬餘本（十七割二分）代金に於て九十四萬七千餘本（十三割二分五厘）を增加せり。又刻煙草の賣渡高は二千七百餘貫、此の代金十二萬九千餘圓にして、前年度に比し數量に於て七百餘貫（三割八分五厘）、代金に於て六萬五千餘圓（九割七分一厘）を增加し、板煙草の賣渡高は百十六貫餘、此の代金二千九百餘圓にして、前年度に比し數量に於ては四百七圓（一割五分七厘）を增加せり。

### （八）煙草輸移出

本年度に於ける製造煙草の輸出用賣渡高は口付紙卷煙草三千二百十六萬本、代金八萬七千二百十八圓、兩切紙卷煙草二億二千百四十六萬六千本、代金七十二萬六千八百六十一圓、刻煙草二千四百五十二貫、代金二萬六千六百六十二圓、代金合計八十四萬七百四十一圓にして、同上移出用賣渡高は口付紙卷煙草五億四千三百四十萬本、代金百五萬九千二十三圓、兩切紙卷煙草千百三十八萬五千本、代金一萬八千八百五十九圓、刻煙草三萬二千八百四十八貫、代金十八萬七千四百七十四圓、代金合計百二十六萬五千三百五十六圓なりとす。今輸出用及移出用賣渡代金を合計すれば二百十萬六千九十八圓となり、前年度に比し四十九萬四千餘圓（三割六厘强）を增加せり。之を製品別に比較するに口付紙卷煙草は數量七千七百四萬本（一割五分五厘弱）、代金三十八萬二千餘圓（一割七厘强）を增加し、又刻煙草は其の數量十二貫を減じたるも代金に於て三萬九千餘圓（二割二分九厘强）の增加を示せり。

# 第二十三款　大正九年度

## （一）煙草耕作

煙草産地は兩三年來財界の好況に伴ふ各種對抗産業の殷盛の反面として萎靡不振の狀態なりしが、製造煙草は賣行益〻良好にして前途大に增製の必要を認められたるが故に、政府は前年來耕作上有益なる各般の施設を遂げ、夫々保護奬勵の方策を講じたり。然るに九年耕作の當初に在りても諸物價の騰貴・勞力の缺乏等は仍ほ未だ常態に復せずして、耕作上の脅威を受くること甚しく、需要量目充實に就き更に困難を加へたるを以て、又復賠償價格の引上・最高等級の制限撤廢を斷行して諸物價との平衡を圖り、尙ほ耕作者及耕作組合に對し段別增加奬勵金を給與し、專ら民間の自發的耕作を促進すると共に、納付上不便と認むる地方には取扱所を新設して相當便益を與ふる等大に勸奬を加へたり。而して恰も九年三月財界の反動來を見るや、産地一般に確實有利なる煙草作を歡迎するの情勢となり、公示段別三萬七千八百四十五町歩餘に對し、許可段別三萬七千五百三十二町歩餘に達し、其の植付實蹟は三萬七千五百九十六町歩餘、耕作人員二十六萬六千三百四人となり、前年に比し六千七百十八町歩、耕作人員三萬六千百三十人を激增し、大體當初の目的を達成するを得たり。

本年作は苗床期たる三四月の天候兎角不順にして、播種及發芽を遲延せしも、溫度は比較的高かりしに因り苗の生育は大體普通なるを得たり。而して五六月は概ね天候順調なりしを以て移植及施肥手入に支障少く、七月に入り全國一般に氣溫上昇晴天連續し、西部地方に於ては多少旱害を被りたるものありしも、概して生育良好なりしが、同月下旬四國・中國方面に暴風雨の襲來あり、其の他の地方に於ても曇又は雨天勝となり、引續き八月は氣溫普通なりしも九州地方を除く外曇又は雨天の所多く、就中關東地方は降雨頻繁宛も霖雨の狀態に陷り、淺草・水戸・茂木・宇都宮管內の如きは病害夥しく、乾燥中のものは或は吊腐を生ずる等頓に作柄不良となり、其の他の地方に於ても旱・中作は收穫・乾燥に支障を來し、品質に及ぼす影響尠からざりき。九月以降は比較的無難に經過し、殊に秋季の天候高溫順調なりしが爲め晩作産地の收穫・乾燥に好影響を及ぼし、東北方面の如きは稀なる豐作を見るに至れり。而して全國を通觀するに收量は水戸・秦野・大阪・池田管內に於ては平年作以下のもの多く、其の他の産地は概ね增收を示し、總收穫量千六百七十六萬三千餘貫に達し（內本年度收納千六百三十三萬九千餘貫、翌年度繰越三十三萬五百二十七貫、亡失廢棄九萬三千七百九十五貫、其の他百四十六貫）、前年度よりも三百五萬千餘貫を增加し、又一段步當收穫量は四十四貫六百匁にして、平年作よりも五分二厘の增收に當れり。然れども品質に於ては、大阪・神戸管內の米國種及熊本・鹿兒島管內竝に晩作地たる郡山・仙臺・山形管內等が平年作以上を維持したるに止まり、總平均一貫目當價格は三圓二十一錢三厘にして、賠償價格引上を考慮外に置けば平年作を下ること四分六厘にして、一段步當賠償金に於て辛うじて平年作を維持し得たり。

## （二）葉煙草收納

大正六年以來物價賃銀の昂騰・生產費の增加に伴ひ、屢〻賠償價格の引上を行ひたりしが、本年に及びても諸物價の昂騰尙ほ未だ停止せず、生產費は益〻嵩み、對抗作物及產業は益〻好況を呈し、就中養蠶の如きは絲價三千二三百圓の高價を實現して彌〻盛大となり、爲めに煙草作に對する人氣不良となれり。一方製品の需要は愈〻增加して耕作段別に多大の擴張を要するに至れるを以て、賠償價格を若干等宛

引上げ、同時に葉煙草賠償價格告示の形式に變更を加へたり。

大正九年度の收納豫定量目は千五百六十七萬二千餘貫、此の賠償金五千百五十二萬五千餘圓、一貫夘當賠償金三圓二十八錢八厘の見込なりしも、收納の實績は新葉量目千六百三十三萬九千餘貫、賠償金五千二百五十萬二千餘圓、古葉量目二十五萬五千餘貫、賠償金六十三萬一千餘圓、合計量目千六百五十九萬四千餘貫、賠償金五千三百十三萬四千餘圓、一貫夘當賠償金三圓二十錢二厘にして、豫定に對し量目に於て九十二萬二千餘貫（五分九厘）、賠償金に於て百六十萬九千圓（三分一厘）を增加したるも、一貫夘當賠償金に於て二分六厘を減少せり。

（三）葉煙草輸入

本年度葉煙草の購買高は數量百五十九萬千四百二十二貫、價格九百六十六萬千五百二十五圓にして、前年度に比し數量二十六萬六千餘貫（二割一厘）、代金四百十三萬二千餘圓（七割四分七厘）の增加を示せり。購買高最も多きは支那葉にして、米國葉・馬尼剌葉之に亞ぎ、印度葉・朝鮮葉・ビルマ葉・ハバナ葉・土耳古葉・希臘葉等亦相當の額に上れり。斯くの如く前年度にも增して多量の葉煙草を輸入したる所以は、各種煙草の需要益〻夥多にして內地產葉煙草の生產之に伴はざりしに因る。又數量の增加に比し價格の激增したるは、一般貨物と同じく世界戰爭の影響を受け價格の暴騰せるに基けり。

（四）葉煙草輸移出

本年度に於ける輸移出葉煙草の賣渡は數量十九萬八百七貫、代金七十七萬二百九十六圓にして、前年度に比し數量一萬四千餘貫、價格二十八萬二千餘圓の增加なりとす。此の內輸出用賣渡は數量三萬六千九百五十七貫、代金十五萬二千二百六十四圓にして、輸出先は支那を專らとし、移出用賣渡は數量十五萬三千八百五十貫、代金六十一萬八千三十一圓にして、移出先は朝鮮及臺灣の兩地方とす。斯くの如く內地製造煙草需要調節の爲め多量の外國產葉煙草を輸入するの已むを得ざる時期に遭遇せるを以て、一般輸出は之を差控へ、僅に特殊關係ある前記三地方に限り仕向けたるに因れり。

（五）煙草製造

本年度に於て煙草製造の爲め使用したる葉煙草の原量目は一千五百四萬二千餘貫にして、解包調理の結果一千四百七萬餘貫となり、差引九十七萬二千餘貫（六分五厘）の缺減を生せり。之を前年度に比するときは原量目百八十二萬三千餘貫（一割三分八厘）、實量目百七十二萬八千餘貫（一割四分）、差引缺減量目九萬五千餘貫（一割八厘）を增加せり。

本年度に於ける煙草製造高（更裝品數量を含む）は口付紙卷煙草百八十七億七千五百七萬千餘本、兩切紙卷煙草三十九億八千八百七十八萬三千餘本、葉卷煙草三百二十萬六千餘本、刻煙草七百十二萬二千餘貫にして、之を前年度に對比すれば口付紙卷煙草に在りては四十三億千四百四十二萬三千餘本（二割九分一厘）、兩切紙卷煙草に在りては十億五千六百五十四萬三千餘本（三割六分）、葉卷煙草に在りては二萬四千餘本（八厘）、刻煙草に在りては四十五萬三千餘貫（六分八厘）を增加し、刻煙草を除くの外事業開始以來未曾有の多額を示せり。

右の如く紙卷煙草就中口付紙卷煙草の製造は前年度に比し三割增、又前々年度と比較するときは實に六割七分增の巨額に上り、製造力に不足を來せるを以て、本年度に於ては淺草・宇都宮・郡山・仙臺の四支局及濱松出張所に工場の增設及擴張を爲し、以て需要に應することとなせり。而して右の如き

工場の增設・擴張に伴ふ機械設備の增設の外、他方に於ては本年度に入りて職工募集難の傾向ありしを爲め、豫定數量の製造遂行上刻・卷兩煙草共に手工作業を機械作業に變更するの急に迫られ、主として此の種機械の設備をも行ひたり。

**（六）煙草輸入**

本年度外國製造煙草購買高は紙卷煙草數量六千三百十一萬餘本、代金四十七萬圓、葉卷煙草數量二百五十萬三千餘本、代金二十一萬三千二十三圓、刻煙草數量三千八百十一貫餘、代金六萬二千九百十五圓、板煙草數量六十一貫餘、代金四百八十圓、代金合計七十四萬六千四百二十圓（外に年度內未納額三萬二千百八十八圓あり）にして、前年度に比し九萬九千餘圓を減じたり。購買價額の最大なるは埃及の二十四萬千五百五十八圓にして、馬尼剌の二十三萬七千六百五十七圓之に亞ぎ、英國・米國・玖馬等よりも相當の輸入ありたり。之れ一般社會に於て煙草に對する嗜好上進の爲め、輸入品の需要增加に伴ひ各品種の新輸入を圖りたる外、戰時中供給杜絕せし各國製品の輸入復活せしものあるに因る。

**（七）煙草販賣**

本年度末煙草販賣官署は支局二十二箇所、出張所二十六箇所、合計四十八箇所にして、從來各販賣官署中內國製品及輸入製品を販賣するものと、內國製品のみを販賣するものとの區別ありしを改め、本年度よりは各販賣官署を通じ、內國製品及輸入製品の全部を取扱ふことと爲したり。而して本年度末に於ける煙草元賣捌人は四百四十一人、煙草小賣人は十七萬二千餘人にして、前年度末に比して元賣捌人は異動なく、小賣人は千三百餘人を增加したるに過ぎず。

次に本年度賣行の概況を見るに、本年度は財界全般に亙りて一大不況に陷りしを以て、隨て煙草の賣行にも大影響を及ぼすやの懸念ありしが、事實は然らずして依然好況を以て終始し、寧ろ供給は需要に對し常に不足を告ぐるの狀態なりき。卽ち本年度內地賣渡總代金は二億千二百十五萬四千餘圓にして、前年度に比すれば實に三千九百七十三萬六千餘圓（三割三分）の增加なりとす。而して其の數量に於ては卷煙草（葉卷を除く）二百九億五千四百六十九萬餘本にして、前年度より四十二億千四百九十七萬餘本（二割四分五厘）を增加したるも、刻煙草は六百九十九萬餘貫にして、前年度より二十一萬餘貫（三分）の減少を示せり。今品種別に之が狀況を擧ぐれば、先づ口付紙卷煙草の本年度內地賣渡高は百七十三億二千七百三十七萬餘本、此の代金一億六百四十七萬餘圓にして、前年度に比し數量に於て三十四億六千六百十一萬餘本（三割五分）、代金に於て二千九百五十一萬餘圓（三割八分四厘）を增加せり。口付中賣行最も多きは依然敷島にして全數量の六割六分四厘を占め、前年度より一割八分六厘の增率を示したり。之に亞ぐは朝日の二割七分二厘にして、前年度の四割六分六厘に對し急激の減少を見たるが、これ蓋し敷島の供給潤澤となれる結果本品に影響を及ぼせるものの如し。其の他の品種は右兩種の補充に過ぎずして、數種を併せて僅に六分四厘を出でず。而して前年に比し賣行の增加したるは敷島の六割六分四厘、不二の十割九分三厘、國華の八割三分六厘、やよひの一分七厘等にして、朝日は一割四分、カメリヤは一割三分、大和は九厘、たつ田は四割六厘の減少を示せり。兩切紙卷煙草の本年度內地賣渡高は三十五億千八百十四萬餘本、此の代金二千百十五萬餘圓にして、前年度に比し數量に於て七億千八百三十九萬餘本（二割五分七厘）、代金に於て五百十六萬餘圓（三割二分三厘）を增加せり。兩切中需要最も多きはゴールデンバットにして、全數量の六割二分二厘を占め依然本種の首位にあるも、前年度に比すれば其の割合八分二厘を低下したり。之に亞ぐは兩切敷島の八分四厘、ほまれの八

分、リリーの七分二厘にして、其の外のものは賣行歩合至て僅少なりとす。而して品種別に之を前年度に對比すれば蝴蝶・アルマ・オリエントの三種は二分内外の減少を見たるも、其の他の品種は何れも著しく增加したり。次に刻煙草の本年度内地賣渡高は六百九十九萬餘貫、此の代金八千二百三十七萬餘圓にして、前年度に比し數量に於ては二十一萬餘貫（三分）を減少せしも、其の代金に於ては五百五十四萬圓（七分二厘）を增加せり。本品も亦逐年賣行數量の增加を見つつあるものにして、本年度と雖も敢て需要衰へたるには非ざるに、而も前年度に比し若干の減少を示したるは、「あやめ」以下下級品の賣行稍、澁りて、「さつき」以上各種上級品の需要頓に激增したるも、供給之に伴はず每期品不足を訴へたる結果なるべし。刻煙草中品捌けの最も優勢なるは「あやめ」にして全數量の二割八分九厘を占め、「さつき」之に亞ぎて二割七分五厘を占め、前數年來首位を占めし「はぎ」は二割七分一厘にして第三位に下れり。尙ほ白梅・福壽草の如きは賣行前年に數倍し、爲に其の需要歩合に著しき異動を來したり。更に内地製葉卷煙草の賣渡高は二百三十萬餘本、此の代金十八萬餘圓にして前年度に比すれば數量に於て八十五萬餘本（三割七分）、代金に於て五萬餘圓（二割二分二厘）を減少せり。之れ財界不況の影響に外ならざるべきも、又紙卷煙草の供給增加に伴ひ一部消費者が之に轉じたるものなるべし。次に輸入製造煙草の賣渡狀況を見るに、其の中葉卷煙草の本年度賣渡高は百三十二萬餘本、此の代金三十二萬餘圓にして、前年度に比し數量に於て百五十九萬餘本（五割四分六厘）、代金に於て二十七萬餘圓（四割五分九厘）を激減し、紙卷煙草の賣渡高は一億九百十七萬餘本、此の代金百五十萬餘圓にして、前年度に比し數量に於て三千四十五萬餘本（三割八分七厘）を增加せるも、代金に於ては十六萬餘圓を減少せり。斯くの如く數量の增加に拘はらず代金を減少したるは、安價なる支那東亞會社製ヘルメットを多量に輸入したる結果なり。又刻煙草の賣渡高は三千百餘貫、此の代金十三萬餘圓にして、前年度に比し數量に於て三百八十餘貫（一割四分一厘）、代金に於て七千五百餘圓（五分九厘）を增加したり。此の增加の理由は久しく品切中のもの適當に輸入せられしに因る。板煙草の賣渡高は五十貫餘、此の代金千三百餘圓にして、前年度に比し數量六十五貫餘（五割六分三厘）、代金一千六百餘圓（五割四分三厘）を減少せり。

### （八）煙草輸移出

本年度製造煙草の輸出用賣渡は口付紙卷煙草數量千百八十萬本、代金四萬二百五十八圓、兩切紙卷煙草數量五千二百九十萬本、代金二十四萬二千五百三圓、刻煙草數量四千五百二十四貫、代金六萬八千八百三十七圓、代金合計三十五萬千五百九十八圓にして、同上移出用賣渡は口付紙卷煙草數量七億七千四十六萬本、代金二百二萬八千六十九圓、兩切紙卷煙草數量千百二十一萬本、代金二萬三千六百七十四圓、刻煙草數量三萬七千九百四十九圓、代金合計二百三十五萬五千四百九十二圓なりとす。今賣渡代金を總計するに二百七十萬七千九十圓となり、前年度に比し六十萬餘圓（三割八分五厘强）を增加せり。之を製品別に見れば、口付紙卷煙草は數量七億二千餘貫（一割九分九厘强）、代金十五萬八千餘圓（八割四分弱）を夫々增加し、兩切紙卷煙草は數量一億六千八百七十四萬千本（七割二分五厘强）、代金四十七萬九千餘圓（六割四分二厘）を激減せり。斯く前年度に比し數量の增減歩合と代金の增減歩合間に大差あるは、前年度後半及本年度に於て賣渡價格に改定ありたるに因る。又口付紙卷煙草及刻煙草の增加せるは特殊關係を有する臺灣・千島に於ける需要增加の爲め、兩切紙卷煙草の激減したるは、其の主たる仕向先支那に於ける經濟界の不況と排外貨氣勢に影響せられたるものなり。

## 第二十四款　大正十年度

### （一）煙草耕作

大正十年度に於ける財界の情勢は前年度末の反動未だ戢まらず、前途尙ほ暗澹として各種の生産事業萎靡不振の狀あり、殊に對抗産業として曾て全盛を謳歌せられたる繭絲の價格漸落の歩調を辿りて容易に恢復の兆なく、米穀其の他一般農作物も亦之に類するものありしが故に、煙草産地は政府の保護下に在る煙草作の確實且つ有利なるを覺知し、賠償價格約半箇等の引下ありしにも拘らず耕作段別の增加及新耕作を希望するもの簇出したり。仍て政府は此の趨勢に鑑み、最初三萬七千四百三町歩の段別を公示したりしが、希望者愈〻旺盛にして、公示段別に達せざる地方の産地段別を彼此融通するも仍ほ之を超過するに至れり。殊に前々年度末增作奬勵を加へたる後を承け、俄に希望を抑制し難き事情ありしと、他面産地を保護し事業の根底を鞏固ならしめんが爲めには、斯かる年柄に於て相當耕作を爲さしむるの必要あるを認めたるとに因り、第二次に四百十五町歩を、第三次に十四町歩を夫々追加し、合計三萬七千八百三十二町歩の公示を爲したり。而して之が許可段別は三萬七千七百四十九町餘歩なりしが、其の實際作付は人員二十九萬四千三百七十七人、段別三萬七千五百九十八町歩となり、許可及公示段別に比し幾分減少せり。

本年の作柄を見るに、苗床期たる三月は一般に稍〻低溫なりしが、四月は高溫且つ相當の降雨あり、一般に苗の生育を促進したり。五月の天候は平年と大差なく推移し、苗生育促進に伴ひ植付も一般に進捗せしが、六月中旬以降氣溫低きに過ぎ且つ雨天連續し、手入作業に少からざる支障を來したるのみならず、幾分肥料を流失し、生育一般に阻害せられ或は不整一となれり。其の後七月中旬に至り連雨漸く晴れ、八月の天候亦氣溫高く中晩作産地の生育に好影響を齎し、概して作柄を見直したるも、晴雨順を缺きて一般に成熟を遲延せしめ、又早作産地の乾燥にも多少の支障を見たり。九十月は一般に氣溫低く降雨概して多く、晩作地は此の降雨に依り却て葉幹茂り收量を增加せるも、益〻成熟期を遲延し、乾燥經過亦良好ならざりき。斯くの如く生育・乾燥期を通じ兎角天候の障害少からざりしが、耕作法の進歩に連れ一般に施肥量の增加せる關係もあり、結局數量に於ては東京・秦野・名古屋・大阪・廣島・德島管內等の平年作に及ばざりしを除き、其の他の産地は概して平年作以上なるを得たり。卽ち總收穫量千六百四十八萬五千餘貫にして（內本年度收納千五百九十四萬五千餘貫、翌年度繰越四十六萬六千餘貫、亡失廢棄七萬三千八百三十四貫、其の他四百三十三貫）、之を前年度に比すれば二十七萬八千餘貫（一分七厘）の減少なりとす。又品質に於ては仙臺・山形・秦野・鹿兒島（丸葉及國分葉）管內の産地は概して平年作以上なるを得しも、其の他の産地は概ね平年作に及ばず、全國平均一段歩收量は四十三貫八百匁にして、平年作に比し二分六厘を增加せるも、一貫目當賠償價格は二圓九十九錢四厘にして、平年作に比し四分九厘を低下し、一段歩當賠償金に於て二分四厘を低下せり。尙ほ耕作上特殊の施設として本年度より煙草耕作罹災補償金交付の制度を發布せしが、其の恩典に浴したるもの耕作者九百二十八人、被害段別九十六町餘歩、補償金交付額一萬四千八百餘圓にして、被害地一段歩當補償金交付額は十六圓四十八錢九厘なりき。

### （二）葉煙草收納

大正十年度の葉煙草賠償價格は、大正九年春季經濟界の動搖以來物價低落に基く對抗作物竝に養

蠶等の收益減少・葉煙草の生產費・製造原料所要の狀況及產地の實況等を調査勘考し、前年度に比し約半箇等の價格引下を爲したり。

本年度の收納豫定量目は千五百八十二萬九千餘貫、此の賠償金五千三百二十萬六千餘圓、一貫匁當賠償金三圓三十六錢一厘の見込なりしが、收納の實蹟は新葉千五百九十四萬五千餘貫、賠償金四千七百七十四萬千餘圓、古葉量目三十七萬千餘貫、賠償金百四萬七千餘圓、合計量目千六百三十一萬七千餘貫、賠償金四千八百七十八萬八千餘圓、一貫匁當賠償金二圓九十九錢にして、豫定に對し量目に於て四十八萬七千餘貫を增加したるも、賠償金に於て四百四十一萬七千餘圓を減少し、一貫匁當賠償金に於て三十七錢一厘を減少したり。

(三) 葉煙草輸入

本年度外國產葉煙草購買高の最も多きは、數量に於ては支那葉、價格に於ては米國葉にして、朝鮮葉之に亞ぎ、外に馬尼剌葉・ピルマ葉・印度葉・ボルネオ葉・土耳古葉・ハバナ葉・スマトラ葉等の購買あり。其の總額は數量四十五萬七百六十八貫餘匁、價格二百三萬八千四十一圓餘にして、前年度に比し數量百十四萬餘貫（七割一分七厘）、代金七百六十二萬三千餘圓（七割八分九厘）の激減を示せり。蓋し內地產葉煙草の生產增加に因り海外より輸入の必要なきに至りたると、嗜好の變遷の爲め外國產葉煙草を原料とせる製造煙草の需要の減じたるとに因る。

(四) 葉煙草輸移出

本年度中葉煙草の輸出及移出高は朝鮮を第一位として臺灣・支那・埃及之に亞ぐ。而して其の輸出用賣渡高は數量五萬八千八十三貫、代金二十八萬二千六百五十九圓、移出用賣渡高は數量十九萬二千七百八十一貫、代金七十五萬五千七百二十四貫、代金百三萬八千三百八十八圓にして、前年度に比較すれば數量六萬餘貫（二割一分五厘）、代金二十六萬八千餘圓（三割四分八厘）の增加なりとす。斯く前年度に比し增加せるは、朝鮮に專賣法實施せられし結果、同總督府專賣局より原料補給方の要求ありて特に賣渡したるに因るものにして、右の外特殊關係ある臺灣・支那等に對して前年度同樣仕向けたる外は、內地產葉煙草の生產尙ほ充分ならざる爲め、一般輸出は之を差控へたり。

(五) 煙草製造

本年度に於て煙草製造の爲め使用したる葉煙草の原量目は千六百二萬三千餘貫にして、解包調理の結果千四百九十七萬二千餘貫となり、差引百五萬餘貫の缺減を生せり。之を前年度に比するときは原量目九十八萬餘貫（六分五厘）、實量目九十一萬千餘貫（六分四厘）、差引缺減量目七萬八千餘貫（八分一厘）を增加せり。

本年度に於ける煙草製造高（更裝品數量を含む）は口付紙卷煙草二百億三千七百九十七萬五千餘本、兩切紙卷煙草三十二億二千三百一萬千餘本、葉卷煙草三百七萬五千餘本、刻煙草七百四十五萬八千餘貫にして、之を前年度に對比するときは兩切紙卷煙草七億六千五百七十七萬千餘本（一割九分二厘）、葉卷煙草十三萬千餘本（四分一厘）を減少したるも、口付紙卷煙草十二億六千二百九十七萬四千餘本（六分七厘）、刻煙草三十三萬五千餘貫（四分七厘）を增加せり。

(六) 煙草輸入

本年度外國製造煙草購買高は、紙卷煙草數量二億二千六百八十三萬五千餘本、代金百二十萬百六十

二圓、葉卷煙草數量百八十一萬九千七百本、代金十五萬四千四百三十三圓、刻煙草數量六千七百九十二貫餘匁、代金十一萬九千二百九十五圓、板煙草百五十七貫餘匁、代金合計百四十七萬五千二百五圓にして、前年度の約倍額に達したり。之れ戰後獨逸製品の輸入復活したるを初め、漸次優良品種の輸入を圖りたると、及支那より巨額の輸入を爲したるとに因れり。購買價額の最大なるは支那煙草の六十一萬七千八十八圓（前年度より五十九萬五千三百六十三圓增）にして、埃及・英吉利・米國產等之に亞ぐ。

### （七）煙草販賣

本年度一般經濟界は不景氣を以て終始せしも、煙草の賣行は頗る順調にして豫期の成績を收めたり。之れ戰後消費の風漸く固定せるに基因するものと云ふべし。本年度の販賣成績は內地賣渡總代金二億二千六百六十萬九千餘圓にして、前年度より千四百四十五萬五千餘圓卽ち六分八厘を增加せり。供給は依然不足を免れざりしが、製造能力の增進により後半期に入りては漸次緩和せられたり。今品種別賣行狀況を見るに、先づ內地製口付紙卷煙草の本年度內地賣渡高は數量百九十二億七千七百八十三萬餘本、此の代金一億二千四十四萬餘圓にして、前年度に比し數量に於て十九億五千四十五萬七千餘本（一割一分三厘）、代金に於て千三百九十六萬七千餘圓（一割三分一厘）を增加せり。本品は常に賣行好況にして、製造設備を擴張し極力需給の調節を圖りしも、尙ほ供給不足を以て經過せしが、年度末に近づき稍、緩和せらるるに至れり。之を品種別に通觀すれば、依然敷島首位にして朝日之に亞ぎ、兩種を以て全數量の九割九分を占む。但し敷島は益、好評を博し尙ほ發展の餘地を示すも、朝日は稍、不況に傾き、兩者間に多大の懸隔を來せり。他品の賣行は不二・カメリヤ・「やよひ」・大和・國華・「たつ田」の順序にして、之が一進一退は大局に影響なきも、近來カメリヤ・「たつ田」の稍、好況なるに反し、「やよひ」・大和は益、不況に陷れり。兩切紙卷煙草の本年度賣渡高は三十四億二千二百九十八萬一千餘本、此の代金二千八十萬八千餘圓にして、前年度に比し數量九千五百十六萬三千餘本（三分七厘）、代金三十四萬九千餘圓（一分七厘）を減少せり。本品は口付の如く極度の品切を訴へざりしも、尙ほ不足勝を以て經過し、後半期に入りて漸く供給潤澤となれり。前年度に於て口付煙草拂底の爲め其の代用に供せられたる反動に過ぎざるなり。賣行の大宗はゴールデンバット・「ほまれ」・エアーシップ三品にして、兩切全量の九割一分を占め、他の數品はスター・蝴蝶の二品を除けば、賣上僅少にして敢て變化なし。次に刻煙草の本年度內地賣渡高は數量六百九十六萬五千餘貫、代金八千三百五十五萬千餘圓にして、前年度に比し數量二萬五千餘貫（四厘）を減じたるも、代金に於ては百十七萬七千餘圓（一分四厘）を增加せり。數量の減少したるは、「さつき」の供給不足に基くものにして、一般に上級品の賣行增加したる結果代金は寧ろ增加を見たり。下級品中獨り「なでしこ」のみ增加せるは、「はぎ」・富貴煙の中間なる本品が、割合に德用品として歡迎せらるるに因るものの如し。

內地製葉卷煙草の本年度賣渡高は百七十一萬三千餘本、此の代金十五萬餘圓にして、前年度に比し數量五十九萬餘本（二割五分六厘）、代金三萬二千餘圓（一割七分六厘）を減少せり。今試みに大正三年以來本品賣渡實蹟を通觀するに、三年より五年までは多少の高低ありしも大體に變化なく、翌六年には一躍倍加し、八年に至り實行最も旺盛を極めしが、以後逐年減少したり。之れ財界の影響に基因すること勿論なるも、其の外本品が輸入品の代用に供せらるる關係に基けること大にして、本年度の賣行の如きは略、平準に歸したるものと見るを得べし。次に輸入製造煙草の賣行狀況を見るに、其の中葉卷煙

草の本年度賣渡高は數量百四十四萬二千餘本、此の代金三十五萬四千餘圓にして、前年度より數量十一萬六千餘本（八分八厘）、代金二萬六千餘圓（八分）を增加し、紙卷煙草の賣渡高は數量三千百二十三萬五千餘本、代金百十五萬五千餘圓にして、數量七千七百九十三萬四千餘圓（二割二分九厘）を激減せり。又刻煙草の賣渡高は數量三千餘貫、代金十四萬八千餘圓にして、前年度に比し數量十餘貫（四厘）を減じたるも、代金に於ては九千餘圓（六分八厘）を增加せり。以上輸入煙草の總賣渡代金は百六十五萬九千餘圓にして、之を前年度に比較するときは葉卷は八分、刻は六分八厘の增加を見たるも、紙卷に於て著しく減少を告げし結果、三十萬八千餘圓（一割五分七厘）の減少を示せり。紙卷の著しき減少は、前年度には內外製品の拂底に際し、調節策として支那製ヘルメットの大輸入ありしも、本年度に於ては之が輸入を中止したるに因る。

**（八）煙草輸移出**

本年度內地製造煙草の輸出用賣渡は、口付紙卷煙草數量千四十八萬本、代金三萬五千四百一圓、兩切紙卷煙草數量千八百八萬本、代金五萬二千四百七十八圓、刻煙草數量二千三百五十六貫、代金三萬七千五百四十六圓、代金合計十二萬五千四百二十五圓にして、同上移出用賣渡は、口付數量九億三千九百七十六萬本、代金二百五十六萬四千二百六十四圓、兩切數量千五百四十四萬本、代金三萬千百三十圓、刻數量二萬六千六百八貫、代金二十五萬千九百四十八圓、代金合計二百八十四萬七千三百四十二圓なりとす。今賣渡代金を總計するに二百九十七萬二千七百六十九圓となり、前年度に比し二十六萬五千餘圓（九分八厘）を增加せり。之を製品別に見れば、口付は數量一億六千七百九十八萬本（二割一分五厘）、代金五十三萬千餘圓（二割五分七厘）を增加したるも、兩切は數量三千五十九萬本（四割七分七厘）、代金十八萬二千餘圓（六割八分六厘）を減じたり。



## 第二十五款　大正十一年度

**（一）煙草耕作**

長期に亙れる一般財界の沈滯も製造煙草の賣行には影響を見ず、依然好況を持續せしを以て、更に製造原料の充實を期する必要上、本年度に於ては前年度に比し千七百四十五町歩を增加し、三萬九千五百七十七町歩の大段別を公示したりしが、一方民間の耕作希望は益〻旺盛にして、忽ち之を消化し盡したるを以て更に四十一町歩を追加し、合計三萬九千六百十八町歩を公示するに至れり。而して之が許可段別は三萬九千五百二十五町歩、作付段別は人員三十萬九千二百九十九人、三萬九千五百二町歩なりとす。

本年の作柄を見るに、苗床期に於ける氣象狀態は概して順調にして發育上さしたる影響なかりしも、五月より六月に亙り長期間寡雨晴爽を持續せしを爲め各所に移植難の聲あり、苗の活着又は生育上の支障尠からず。鹿兒島管內を初め早作產地に於ては肥料の效果顯はれず、遂に不出來に終らむかと憂慮せられしが、六七月の交滋雨臻り早晩作地共此の恩惠に浴し、幹葉一時に暢茂し大に作柄を見直したり。但し早作產地に對しては雨期遲く、爲に生育後れ或は葉肉の充實足らざる等品質上の缺點を伴へり。爾後旱天且つ高溫八月に及びたるを以て、尙ほ生育期に屬する晚作地方は再び旱害を蒙り、既に收穫乾燥中の早作地方にありては急乾に陷れるもの尠からざりき。又七月上旬の暴風は

關西四國・九州方面の一部産地に影響せし外著しきものなく、九月に於ける潤雨と秋季高溫なりしこととは、晩收煙草の收量・品質に好影響を及ぼせり。而して本年度の總收穫量目は千八百五十萬三千餘貫にして（內本年度收納千八百六萬三千餘貫、翌年度繰越三十五萬五千餘貫、亡失廢棄其の他八萬四千餘貫）、前年度に比し二百一萬七千餘貫（一割二分二厘）を增加せり。卽ち平均一段步當量目は概ね平年作以上にして、一割以上の豐作亦尠からず、全國を通じ四十六貫六百匁に達し稀有の增收を示したり。之に反し平均一貫匁當價格は概して不良にして、一割以上の低差を示せるもの多く、全國平均二圓七十四錢に過ぎず、結局一段步當收入金は東京・宇都宮・高崎・大阪・岡山・廣島・德島・熊本管內に於ては減少を來し、其の他は多少の增收を見、全國を通觀し辛うじて平年以上の收入を維持し得たり。又本年度煙草罹災補償金交付高は人員五百二十六人、段別四百二十五町步、金額七千百二圓、被害地一段步當十六圓なりとす。

### （二）葉煙草收納

大正九年春季以來低落せる物價は大正十年に入り益〻甚しく、且つ對抗作物竝に養蠶等の收益減少し、葉煙草の生產費も亦減少したるを以て、本年度に於ても亦新に賠償價格表を改定したり。

本年度の收納豫定量目は千六百四十九萬八千餘貫、賠償金五千三百一萬七千餘圓、一貫匁當賠償金三圓二十一錢四厘の見込なりしも、收納實績は新葉千八百六萬三千餘貫、賠償金四千九百六十六萬千餘圓、古葉四十八萬七千餘貫、賠償金百十三萬六千餘圓、合計千八百五十五萬餘貫、賠償金五千七十九萬八千餘圓、一貫匁當二圓七十三錢八厘にして、豫定に比し量目に於て二百五萬二千餘貫（一割二分四厘）を增加したるも、賠償金に於て二百二十一萬九千餘圓（四分二厘）を減少し、一貫匁當賠償金に於て四十七錢六厘（一割四分八厘）を減少せり。

### （三）葉煙草輸入

本年度外國葉煙草購買高は數量三十八萬三千七百三十八貫、代金三百三十萬千二百九十六圓にして、此の內米國葉は數量三十萬二千三十五貫、代金三百三萬九千三百六十六圓を占めて第一位に居り支那葉・ビルマ葉・馬尼剌葉・ボルネオ葉等之に順次す。今購買高を前年に比するに、數量六萬七千餘貫匁を減じ、代金に於て百二十六萬餘圓の增加を示せり。數量の減少は前年度に比し支那葉の購買數量多かりしに因る。

### （四）葉煙草輸移出

本年度葉煙草の輸移出高は、震災に因り東京地方專賣局分の調查材料、燒失したる爲め、其の全額を知るを得ざれども、不明の分を除きたるものは六十五萬千六百餘貫、代金二百二十七萬五千八百餘圓（代金は判明せるも細別不明にして、之を前年度實績二十五萬八百六十四貫、代金百三萬八千三百八十七圓に比較すれば、數量は前記不明分を除くも尙ほ四十萬七百餘貫（十五割九分八厘）を增し、代金は百二十三萬七千餘圓（十一割九分二厘）を增加したり。斯く前年度に比し著しく增加したるは、一時中絕したる埃及への輸出復活せしに基因す。

### （五）煙草製造

本年度に於て煙草製造の爲め使用したる葉煙草（東京地方專賣局分は調查材料燒失せしに付假に前年度分を以て之を集計す）の原量目は一千五百九十五萬八千餘貫にして、解包調理の結果千四百八十九萬二千餘貫となり、差引百六萬五千餘貫卽ち原量目に對し六分七厘の缺減を生せり。之を前年度に比するときは原量目に於て六萬五千餘貫（四厘）、實量目に於て八萬餘貫（五厘）を各〻減じ、減量目に於て一萬五千

餘貫（一分）を增加せり。

本年度に於ける煙草製造高（更裝品數量を含む）は（東京地方專賣局分は上記の理由に依り前年度の計數を以て集計す）、口付紙卷煙草二百十九億五百九十四萬二千餘本、兩切紙卷煙草四十億二千二百五十六萬九千餘本、葉卷煙草八十二萬四千餘本、刻煙草七百萬七千餘貫にして、之を前年度に比すれば、葉卷煙草二百二十五萬餘本（七割三分二厘）、刻煙草四十六萬餘貫（六分二厘）を減じたるも、口付紙卷煙草十八億六千七百九十六萬七千餘本（九分三厘）、兩切紙卷煙草七億九千九百五十五萬七千餘本（二割四分八厘）を增加せり。

**（六）煙草輸入**

本年度外國製造煙草購買高は、紙卷煙草數量三億七千五百二十一萬餘本、代金百七十五萬四百四十七圓、葉卷煙草二百四萬二千餘本、代金十七萬二千六百十六圓、刻煙草二千九百二十貫餘、代金五萬七千三百四十一圓、板煙草百二十二貫餘、代金九百六十一圓、代金合計百九十八萬千三百六十七圓にして（外に未納額十三萬二千九百四十七圓あり）、前年度に比し五十萬六千餘圓（三割三分九厘）の增加なりとす。斯く激增したる主因は、兩切紙卷煙草の需要激增し、供給不足の爲め其の補給として、在支東亞煙草株式會社工場にてゴールデンバットの製造を行はしめ、之を輸入したるに在り。

**（七）煙草販賣**

大正九年以來引續ける財界の不況は年と共に度を加へ、本年度に入りては其の程度一層深甚なるものあり。然るに一般日用諸物價殊に市場小賣相場は、財界の趨勢に反し低落の氣配極めて遲々として生計苦惱の聲高く、政府に於ても此の不自然なる物價對策上消費節約、物價調節の宣傳に努むると共に、十月一日より製造煙草の一部値下げを實施して、物價調節の先驅たらしめんことを圖れり。

然るに財界の情勢に反して好況に經過し、値下げに因る賣渡代金の減損ありしにも拘らず、內地賣渡總代金二億三千二百五十四萬二百八十五圓餘にして、前年度より五百九十三萬三百五十八圓（二分六厘）を增加するの好成績を得たり。今其の賣行狀況を概說するに、先づ內地製口付紙卷煙草の本年度賣渡高は二百五億二千三百五十七萬本、代金一億二千八百十九萬千五百四十三圓にして、前年度より數量に於て十二億四千五百七十三萬九千本（六分五厘）、代金に於て七百七十五萬千五百六十二圓（六分四厘）を增加せり。一兩年前迄供給不足の狀態を脫し得ざりし口付煙草は、製造設備の充實により、本年度に於ては特殊製品たるカメリヤ、たつ田」を除き頗る圓滿なる配給をなすを得たり。又專賣創始二十五周年記念品として發賣したる「かをり」は賣出當時人氣を博し、一時不二の賣行を制肘するやの感ありしも、包裝、色彩の需要者に飽かれ易き嫌あり、同價品たる不二との兩立至難なるを以て、遂に製造を廢止することとなれり。右に述べたるが如く口付煙草は需給の權衡を得て、賣行良好なりしも、不二以上の上級品は幾分財界不振の打擊あり、殊に定價引下以來兩切煙草の異常なる賣行進展は、漸次口付煙草の賣行を壓迫するの傾向を示すに至れり。兩切紙卷煙草の賣渡高は三十九億七千七百十三萬五千本、代金二千三百三十一萬三千三十一圓にして、前年度に比し數量に於て五億五千四百十五萬三千本（一割六分二厘）、代金に於て二百五十萬四千四百十三圓（一割二分）を增加せり。兩切煙草は上級品に於て、輸入煙草の供給關係と財界不振の影響とに依り需要の減退を示したるも、スター以下の品種就中ゴールデンバット・蝴蝶の兩種は値下以來豫想以上の需要增加を來せり。リリーはエアーシップ・ゴールデンバット兩種の中間品として復活したるも、從來需要者に與へし印象良好ならざりし爲め、復活賣出後に於ても兎角需要者の嗜好に投ずること能はざりしが如し。

「ほまれ」の賣行減退は全く軍備縮小の結果に基く在營人員の減少に因るものにして、他に擧ぐべき事由を認めず。記念新製品サロンは上級品不況の間に在りて、相當好評を維持したり。要するに兩切煙草は定價引下以來俄に多大の需要を喚起し、再び昔日流行旺盛なりしパイプ愛用の風習を振起して、口付より兩切の嗜好に推移する傾向極めて顯著となれり。更に刻煙草の賣渡高は六百六十七萬六千九十五貫、代金七千九百五萬四千八百十七圓にして、前年度より數量に於て二十八萬九千五百六貫（四分二厘）、代金に於て四百四十九萬六千九百六十六圓（五分四厘）を減少せり。之れ紙卷煙草の賣行增進に因る自然の衰退にして、商況としては需給共に大體平調に經過したり。品種別賣行趨向は福壽草以上の上級品が財界の影響に因り不振の度著しく、又久しく好況を維持し得たる「さつき」の稍賣行鈍狀を示せるものあり。「はぎ」以下の三種は定價引下以來相當需要を增進すべく豫想せられしも「はぎ」は依然前年度に比し賣行を減じ、なでしこ、富貴煙草に於て增加の實を示せり。又內地製葉卷煙草の賣渡高は百六十四萬千三百二十本、代金十三萬七千六百八圓にして、前年度に比し數量に於て七萬二千五百三十四本（四分二厘）、代金に於て一萬二千四百九十八圓（八分三厘）を減少せり。賣行の減少は財界不振の爲め需要減退せしに因るものと認めらる。次に輸入製造煙草の賣行を見るに、其の中葉卷煙草の本年度賣渡高は百三十六萬九千六百本、代金三十四萬四千六十九圓にして、前年度に比し數量七萬二千四百三十九本（五分）、代金一萬八百八十六圓（三分一厘）を減少し、紙卷煙草の賣渡高は三千八百八十三萬二百四十五本、代金百三十萬七千五百八十四圓にして、前年度に比し數量七百五十九萬四千四百九十八本（二割四分三厘）、代金十五萬千七百四十九圓（一割三分一厘）を增加せり。又刻煙草の賣渡高は三千七百九貫、代金十九萬千二百九十圓にして、前年度に比し五百五十一貫（一割四分七厘）、代金四萬三千三十七圓（二割九分）を增加せり。此等の中葉卷煙草の減少は內地葉卷と同一理由に基くものにして、又紙卷、刻兩種の增加は需要に對する恰好品種の輸入ありし關係上、賣行良好なりしに因るものなるも、是れ亦上級品に於て賣行不良なりしことは他品種と同樣なりとす。

**（八）煙草輸移出**

本年度內地製造煙草の輸出用賣渡は卷煙草數量千九、百八十一萬二千本、代金九萬千四百五十七圓、刻煙草數量三千九百十貫、代金五萬四百六十六圓、代金合計十四萬千九百二十三圓にして、同上移出用賣渡は卷煙草七億六千五百九圓、刻煙草二萬八千百五十八貫、代金二十六萬九千二十三圓、代金合計二百十七萬八千五百三十二圓なりとす。今賣渡代金を總計するに二百三十二萬四百五十五圓となり、前年度に比し六十五萬二千餘圓（二割一分九厘）の減額を示せり。之を卷及刻兩種に區分して比較するに、卷煙草は數量一億九千八百八十四萬八千本（二割二厘）を激減し、刻煙草亦數量八百六貫（二分七厘）の減少を示せり。而して輸出及移出先別、煙草品種別等の統計は大正十二年九月の震災の爲め書類燒失せしに因り詳かならず。

## 第二十六款　大正十二年度

**（一）煙草耕作**

本年度に於ても財界の不振甚しく人氣は愈〻沈衰し、消費節約の宣傳盛なりしが、煙草の賣行は依然概して好況にして、今俄に變化を來すべき廣なかりしが故に、本年度の耕作段別は前年より僅に六十五町歩を減じて三萬九千五百五十三町歩を公示したり。而して對抗產業たる繭絲の價格著しく擡

頭の氣配ありし爲め、高崎・岡山管內の如きは多少煙草作に對する人氣を殺ぎ、段別の充實困難なりしも、東京・宇都宮・郡山・仙臺・德島の管內に於ては却て公示段別の增加を希望するの狀態なりしを以て、公示に達せざる產地の段別を彼此融通し、耕作三萬九千百六十九町步、試作四十二町步、合計三萬九千二百十一町步（其の後變更の結果三萬九千百十五町步となれり）を許可したり。而して之が作付段別は人員三十萬九千四百十九人、段別三萬九千三百八十八町步に達し、公示に對しては百六十五町步を減せしも、許可段別より增加するが如き未曾有の現象を呈したり。

本年の作柄を見るに、苗床初期は天候兎角急變し苗生育に影響せるも、末期の天候適順を得、且つ移植期の天候概して高溫順調なりしを以て、平年と大差なく移植を了せり。而して移植後は根付良好なりしが、六月中旬より七月中旬に亙り全國一帶に氣溫低く陰霖雨濕の天候持續せし爲め、追肥手入の機を失して生育徒長軟弱となり、尙ほ熊本・鹿兒島地方局管內にては數度の暴風あり、爲に後者にては赤星病發生蔓延し稀有の慘害を被りし等、全國一般に生育不良なりしが、七月下旬より氣溫急に上昇し、八月中は晴爽の天候持續し降雨量平年の半量に過ぎざりし爲め、旱害を被り生育を阻害せられたるもの、及同期乾燥中のものは急乾に失し品質を損傷せるもの尠からず。其の後天候恢復したれども、九月一日には關東に大震災あり、東京・秦野地方局管內には收穫後毀損せるもの尠からず、且つ九月は降雨稍多かりしに因り晚作產地に在りては生育を助長して益、晚作に傾きたり。爲に會津・東根・遠州（見付・鶴來及宮崎葉の五種の外遂に不作に終れり。卽ち本年度總收穫高は千六百四十二萬七千貫弱にして（內本年度收納濟千六百十萬四千餘貫、翌年度繰越二十三萬五千餘貫、亡失廢棄其の他八萬七千餘貫）、前年度に比し二百七萬六千貫を減少し、一段步當平均量目は四十一貫七百匁となり、前年度に比し五貫百匁を激減せり。又品質不良の爲め一貫匁當平均價格も前年より更に七錢八厘を低下して二圓六十六錢となり、一段步當收入金は前年の百二十七圓餘に對し百十圓餘にして稀に見るの減收を示せり。又本年度煙草罹災地補償金交付高は人員五百四人、段別七百一町步、金額九千七百五圓、被害地一段步當十三圓なりとす。

### （二）葉煙草收納

物價・貨銀は前年末より多少騰貴を示せるものあるも大體に於て大なる變動なく、對抗作物及產業の狀勢も亦別に前年と相違を認めざりしを以て、製造上必要なる優良葉生產增加の一策として、水府葉・出水葉に對して多少の引上を爲したる外、賠償價格は之を据置とせり。

大正十二年產葉煙草收量の當初豫定は千七百二十八萬餘貫、此の所要賠償金五千八十六萬八千餘圓、一貫匁當二圓九十四錢四厘にして、內翌年度へ繰越すべき見込額は三十四萬五千餘貫、賠償金八十一萬三千餘圓にして、差引本年度內に收納すべき豫定高は新葉千六百九十三萬五千餘貫、賠償金五千五萬五千餘圓、古葉三十五萬九千餘貫、賠償金八十二萬三千餘圓、合計千七百二十九萬四千餘貫、賠償金五千八十七萬八千餘圓となれり。而して收納實績は新葉千六百十萬四千餘貫、賠償金四千二百九十七萬八千餘圓、古葉三十五萬九千餘貫、賠償金八十二萬三千餘圓、合計千六百四十六萬四千餘貫、賠償金四千三百八十萬二千餘圓にして、豫定高に比し量目に於て八十三萬餘貫（四分八厘）、賠償金に於て七百七萬六千餘圓（一割三分九厘）を減少せり。

### （三）葉煙草輸入

外國產葉煙草購買高の最も多きは米國葉にして、數量百二十九萬八千三百十七貫、價額千七十四萬

七千三百三十四圓に上り、支那葉の數量二十四萬八千百六十二貫、價額百五萬六千六百七十六圓之に亞ぎ、印度葉・マニラ葉・土耳古葉等更に之に順次す。購買總額は數量百七十一萬七千五百三十三貫、價額千二百三十六萬千四百十九圓にして、前年度に比し數量百三十三萬三千餘貫、價額九百六萬餘圓を激增せり。斯くの如く激增せし所以は內地に於ける不作、震火災に燒失したる葉煙草の補充及需要增加見込に依り購買數量を增加したるに在り。

**（四）葉煙草輸移出**

本年度中葉煙草の輸出及移出高は、東京地方專賣局の調査材料燒失の爲め數量總額は判明せざれども、之を除きたる分は七十八萬九千三百九十三貫、代金總計二百二十一萬八千五百六十五圓餘にして、之を前年度實蹟に比すれば數量は十三萬七千七百七十貫を增加し、代金は五萬七千二百九十六圓を減じたり。右は蓋し朝鮮向下級葉煙草の移出增加したるに基因す。

**（五）煙草製造**

本年度に於て煙草製造の爲め使用したる葉煙草の原量目は千五百十一萬六千餘貫にして、解包調理の結果千四百十七萬餘貫となり、差引九十四萬六千餘貫（六分三厘）の缺減を生じたり。之を前年度に比較するときは原量目八十四萬千餘貫、實量目七十二萬二千餘貫、減量目三十萬五千餘貫を各、減少せり。

本年度の煙草製造高は口付煙草二百十六億九千九百六十八萬七千餘本、兩切煙草五十二億四千百十五萬九千餘本、葉卷煙草百二十一萬三千餘本、刻煙草六百二十一萬四千餘貫にして、之を前年度に比するときは兩切煙草は十二億千八百五十九萬餘本、葉卷煙草は三十八萬九千餘本を各、增加したるも口付煙草は二十億六百二十五萬五千餘本、刻煙草は七十九萬三千餘貫を各、激減したり。

**（六）煙草輸入**

本年度外國製造煙草購買高は紙卷煙草數量九億四千七百七十六萬三千餘本、代金三百五十七萬七千二百二十三圓、葉卷煙草百十七萬四千餘本、代金七萬六千七百七十四圓、刻煙草三千六十七貫餘匁、代金六萬二千五百五十七圓、板煙草百十三貫餘匁、代金九百四十圓、代金合計三百七十一萬七千四百九十五圓にして（外に未納額十二萬二千八十九圓あり）、前年度に比し百七十三萬六千餘圓（八割七分六厘）を激增したり。之れ前年來兩切紙卷煙草の需要高激增し、供給圓滑ならざりし折柄、大震火災の被害に因り專賣局工場の製造能力を減殺せられ、著しく供給不足を告げたるを以て、其の補給として在支東亞煙草株式會社工場に於てゴールデンバットの製造を行はしめ、尙ほ外數種の下級兩切紙卷煙草を輸入したるに因る。

**（七）煙草販賣**

本年度の煙草販賣狀況は、財界の沈衰に加へて大震火災の影響に因り未曾有の波瀾を呈したり。卽ち製造工場の燒失破損に依る製造能力の減耗・交通機關の破壞に依る製品運搬の不圓滑・震災地賣捌人の配給能力の滅失等の障礙一時に來襲し、殊に當時に於ける通信杜絕に因る示令通達の不能は殆んど收拾すべからざる混亂狀態を現出したり。然れども製造能力恢復に對する應急の施設・凡ゆる機關を利用せし運送力の補塡・販賣區域の臨時變更・罹災元賣捌人に對する延納期間の延長乃至無擔保賣渡・煙草小賣人の臨時指定・賣捌人の燒失煙草に對する特定價格賣渡等の施設を漸を追うて實施したる結果、內地賣渡總代金二億四千百一萬二千五百六圓に達し、前年度に比し八百四十七萬二千

二百二十一圓（三分七厘）を增加するの好成績を擧ぐることを得たり。今其の賣行狀況を概說するに先づ內地製造煙草に在りては、其の中口付紙卷煙草の本年度內地賣渡高は二百十五億三千三十四萬八千本、代金一億三千三百三十五萬三千百四十一圓にして、前年度に比し數量に於て十億六百七十七萬八千本（四分七厘）、代金に於て五百十六萬千五百九十八圓（三分九厘）を增加せり。需給の狀況は八月迄は總て豫定の計畫に基き夫々實行せられ、カメリヤ、「たつ田」を除く外大體圓滿に配給を爲し得たるも、震災後製造能力の減耗に際し、賣行良好なる品種に成るべく製造力を集中して、作業を單純にし能率增進の策を執りたる結果、國華、不二、「やよひ」、カメリヤ、「たつ田」等は一時供給狀態著しく不良に陷り爾來製造力の恢復と共に漸次供給舊態に復したるも、不足當時に於ける市場在品の拂底と消費量の減退とは容易に補塡するを得ず、此等品種は遂に前年度に比し何れも賣行の減少を來せり。大和は從來賣行常に捗々しからず、僅に他品種供給不足の補充的賣行あるに過ぎざる實狀なるを以て、現存材料を限度として之が製造を中止することとなれり。次に兩切紙卷煙草の本年度內地賣渡高は五十四億六千八十二萬本、代金二千九百四十五萬四千四百六十四圓にして、前年度に比し數量に於て十四億八千三百六十八萬五千本（二割七分二厘）、代金に於て六百十四萬千九十圓（二割八厘）を增加せり。前年度に於て豫想せられし兩切煙草の賣行激增は、相當と認められし增製計畫も之に對應すること能はず、到底內地の增製力のみにては急速なる需要增加に追隨し得ざりしを以て、東亞煙草株式會社にゴールデンバット半製品の製造を命じ、七月より之が輸入をなし、內地の增製と相俟つて需給の權衡を得るに努めたり。然るに會〻震災に際會し、之れ亦口付煙草と同一の製造行程を餘儀なくせられしを以て、さなきだに逼迫を告げつつありし供給に一大支障を來したるも、之が對策としてゴールデンバット半製品の輸入增加を爲すと共に、支那竝に米國製品中內地製兩切の代用に適すべき安價なる製品の輸入を爲し、極力兩切需要者の不便を除去するに努力せり。次に又刻煙草の本年度內地賣渡高は六百五十二萬二百八十四貫匁、代金七千五百十一萬八千五百四十八圓にして、前年度より數量に於て十五萬五千八百十一貫匁（三分四厘）、代金に於て三百九十二萬六千二百六十九圓（五分二厘）を減少せり。刻煙草中水府、薩摩刻の二品種は震災に因り材料不足し、製造を中止せし爲め供給の杜絕を來し、白梅、福壽草亦供給の不足を告げしも、其の他は孰れも潤澤なる配給を持續せり。而して刻煙草が紙卷煙草需要增進の反面として賣行の減退を來すは免れ難き現象なるも、其の間に在りて「なでしこ」のみは頗る好況を呈せり。更に內地製葉卷煙草の本年度賣渡高は二百八十二萬二千本、代金二十二萬六百五十一圓にして、前年度より數量に於て百十八萬千本（四割一分八厘）、代金に於て八萬三千四十三圓（三割七分六厘）を增加せり。次に輸入製造煙草の賣行狀況を見るに、葉卷煙草の本年度賣渡高は百五十八萬九千本、代金三十九萬七千八百四圓にして、前年度より數量二十二萬本（一割三分八厘）、代金五萬三千七百三十五圓（一割三分五厘）を增加し、又紙卷煙草の賣渡高は一億七千八百五十一萬本、代金二百二十四萬五千六百九十三圓にして、前年度より數量一億三千九百六十八萬本（七割八分二厘）、代金九十三萬八千百九圓（四割一分八厘）を增加せり。更に又刻煙草の賣渡高は四千二百四貫匁、代金二十一萬二千二百五圓にして、前年度より數量四百九十五貫匁（一割一分八厘）、代金二萬九百十五圓（九分九厘）を增加したり。

**（八）煙草輸移出**

本年度內地製造煙草の輸出用賣渡は口付紙卷煙草五百四十二萬本、代金二萬九千二百九十四圓、刻煙草三千百九十六貫、四萬四千十二圓、代金合計七萬三千三百六圓にして（兩切煙草の輸出なし）、同上移出

用賣渡は口付紙巻煙草六億六千百八十六萬本、代金百五十七萬千百六十九圓、兩切紙巻煙草二千八百萬二千本、代金七萬三千百三圓、刻煙草二萬五千五百三十二貫、代金二十一萬千八百七十三圓、內地製葉巻煙草十一萬五千本、代金三千八十一圓、代金合計百八十五萬九千二百二十六圓なりとす。今賣渡代金を總計するに百九十三萬二千五百三十二圓となり、前年度に比し約三十八萬八千圓（一割六分七厘）の減額を示せり。之れ主として大震火災の被害に依り工場の製造能力減殺せられ、臺灣移出用數島其の他の賣渡高を減じたるに基因す。

## 第二十七款　大正十三年度

### （一）煙草耕作

大正十三年は關東大震災の影響益〻深刻にして、各種產業は萎靡不振に陷り、一方消費節約の聲大にして煙草の需要は著しく減退するを豫想せられたるも、震災に因る燒失葉煙草の補塡を要するものあると、海外輸出の增加するものありし爲め、本年度の耕作公示竝に試作承認段別は合せて三萬九千三百二十一町歩と定め、前年度に比し二百七十町歩の減少に止めたり。然れども農村の疲弊は著しく其の度を高め、且つ前年に於ける煙草作柄の不良に因り意氣銷沈の狀ありしのみならず、他面養蠶は絲價漸騰の勢を示し煙草耕作に影響したるもの多く、許可段別は試作を加へて三萬八千七百二十九町歩にして、公示段別に比し五百二十九町歩を減じ、尙ほ又旱天の連續に因り移植困難なりしもの或は移植後枯死したるものありて、實際の耕作段別は更に減少して三萬八千六百七十四町歩（人員二十九萬九千三百四十七人）となり、前年に比し七百十三町歩（一分七厘）の減少を見るに至れり。

次に本年に於ける作柄の概況を見るに、苗床期の天候は三月中旬より四月上旬迄稍〻寒冷に過ぎしため發芽遲延したるも、四月中旬に至り氣溫上昇し晴雨順なりし爲め、苗の生育は概ね良好なるを得たり。其の後六月上旬迄の天候は關西・九州地方稍〻多雨の傾ありしのみにて、概して順調なりし爲め大なる支障もなく、平年に比して稍〻早く移植を了し、移植後の生育亦概ね良好なりしが、六月中旬より晴天勝となり、以後八月中旬迄殆ど二箇月間旱天打續き、殊に七月の雨量は九州地方を除きては平年の半量にも及ばず、爲に元秦野・元見付及熊本・鹿兒島地方局管內を除きたる他の產地は稀有の旱害を被り、生育甚だしく不良に陷り花蕾を早出し、收量・品質に大なる影響を及ぼし、殊に東京以北の產地に其の程度强かりき。又鹿兒島・熊本地方局管內には七月中旬に暴風雨の被害あり、八月中旬に至り多量の降雨ありたるも既に遲く、且つ九十月の兩月は多雨低溫に過ぎ、晚作地に在りては此の雨濕に依り生育を助長し、收量を增加せしも益〻晚收となり一層品質を損し、中晚作の乾燥經過に惡影響を及ぼせり。卽ち本年度葉煙草の總收穫量目は千七百十萬八千餘貫にして（內本年度收納千六百七十五萬九千餘貫、翌年度繰越二十九萬千餘貫、亡失廢棄其の他五萬七千餘貫）、全國平均一段步當量目は四十四貫百匁となり、平年に比し二分三厘の增收なりしも、一貫當價格は二圓四十九錢九厘に過ぎず、平年に比し一割六分一厘の減差を示せり。從て一段步當收入金は僅に秦野・丸（仙臺）・上地・遠州・勝山・作州・備後・上座丸（鹿兒島）・國分・出水葉等が大體平年作を得たるのみにて、其の他は平年に及ばず三割以上の減收を示せるもの少からず、全國平均に於て平年に比し一割四分一厘減の不作に終れり。

又本年度煙草罹災地補償金交付高は人員四百五十一人、段別五百三町步、金額五千三十圓、被害地一段步當九圓なりとす。

（二）葉煙草收納

本年に於ては地方勞銀依然として低落の跡を認め難かりしも、對抗作物及産業不振の爲め大體に於て安定の狀を呈せるに因り、製造原料として特に增産を急とする米國種に對して、本葉九等以上一箇等、十等三分の二、十一等三分の一の賠償價格引上に相當する樣、標本價格に於て引上を行ひたる外賠償價格は全部据置とせり。

大正十三年度葉煙草收納は、同年産中翌年度に繰越すべき見込量目二十二萬二千八百二十三貫、此の賠償金額四十八萬千千四圓を除き、年度內收納量目千五百七十九萬七百八十七貫、此の賠償金額四千五百二十八萬六千三百四十七圓と豫定し、是に古葉量目二十四萬三千五十二貫、此の賠償金額四九萬二千二百三十三圓を加へて、本年度收納豫定高は量目千六百三萬三千八百三十九貫、此の賠償金額四千五百七十七萬八千五百八十圓となりしが、大正十三年產葉煙草は其の大部分稀有の旱害を蒙り、而も收穫期に近づき降雨に遭ひ俄に發育を回復して晩熟に陷りたるもの多く、收量は著しく增加したるも品質は之に反して著しく低下し、新葉收納高は豫定に比し量目九十六萬八千八百九十一貫（六分一厘）を增加し、賠償金は三百十五萬五千三百三十圓（七分）を減少したり。

（三）葉煙草輸入

外國產葉煙草の購買高の最も多きは米國葉の數量八十四萬二百四十五貫、代金六百六十九萬六千九百五十四圓にして、支那葉の數量十九萬四百四十七貫、代金八十八萬八千三百七十三圓之に亞ぎ、馬尼剌葉・印度葉・ビルマ葉等更に之に順次す。購買總額は數量百四十二萬六百五十二貫、代金八百八十四萬九千八百八十一貫、代金に於て二十九萬六千八百八十一貫、代金に於て三百五十一萬千六百十一圓を減少したり。

（四）葉煙草輸移出

本年度輸出用葉煙草の賣渡高は數量六十四萬五百九十貫、代金百五十五萬四百五十五圓にして、此の內埃及向五十七萬千六百九十四貫、百二十四萬六千三百九十七圓を占め、支那向之に亞ぐ。移出用賣渡は數量四十九萬六千三百九十四貫、代金九十萬八千百九十一圓にして、全部朝鮮向なりとす。輸移出高を總計すれば數量百十三萬六千九百八十四貫、代金二百四十五萬八千六百四十七圓となり、前年度に比し數量に於て三十四萬七千五百九十一貫、代金に於て二十四萬八十二圓を增加したり。

（五）煙草製造

本年度に於て煙草製造の爲め使用したる葉煙草の原量目は千六百五十九萬四千餘貫にして、解包調理の結果千五百五十五萬八千餘貫となり、差引百三萬五千餘貫（六分二厘）の缺減を生せり。之を前年度に比するときは原量目百四十七萬七千餘貫（九分八厘）、實量目百三十八萬八千餘貫（九分八厘）、減量目八萬九千餘貫（九分四厘）を各、增加せり。

本年度に於ける煙草製造高（更裝品數量を含む）は口付紙卷煙草二百二十億四千九百三十八萬八千餘本、兩切紙卷煙草五十五億八千六百三十七萬八千餘本、葉卷煙草二百五十萬二千餘本、刻煙草六百四十四萬六千餘貫にして、之を前年度に比するときは、口付紙卷煙草三億四千九百七十萬餘本（一分六厘）、兩切紙卷煙草三億四千五百二十一萬八千餘本（六分六厘）、葉卷煙草百二十八萬九千餘本（十割六分二厘）、刻煙草十萬九千餘貫（一分八厘）を各、增加せり。

（六）煙草輸入

本年度外國製造煙草購買高は紙卷煙草數量八億三千二百六十萬餘本、代金三百四十七萬七千三百八十七圓、葉卷煙草數量八十九萬四千餘本、代金七萬四千四十六圓、刻煙草三千五百二十五貫餘匁、代金七萬六千二百三圓、板煙草百七貫餘匁、代金八百五十七圓、代金合計三百六十二萬八千四百九十五圓（外に年度內未納額六萬五百四十九圓あり）にして、前年度に比して八萬九千圓（三分四厘）の減少なりとす。

### （七）煙草販賣

大震火災の跡を承けたる本年度の財界は大體に於て沈衰の度を加へしが、他面政府は比年膨脹せる財政の整理緊縮を斷行して民間經濟の壓迫を緩和するの策を採ると共に、勤儉貯蓄、消費節約の宣傳に努めたる結果、一層不景氣の程度を促進せしめたる傾あり。然れども此等財界不況裡にありて煙草賣行は概して好成績を以て經過することを得たり。卽ち內地賣渡總代金二億四千七百四十二萬四千餘圓にして、前年度より六百三十七萬九千餘圓（二分六厘）を增加せり。今其の賣行狀況を概說するに、先づ內地製造煙草に就て見れば、其の中口付紙卷煙草の本年度內地賣渡高は二百十七億三千五百九十四萬千本、代金一億三千四百二十九萬餘圓にして、前年度より數量に於て二億八千八百九十六萬八千本（一分三厘）、代金に於て百二十四萬九千餘圓（九厘）を增加せり。口付煙草の賣行首腦品たる敷島は本年度下半期に入りてより漸次賣行不振の傾向を現出し、之に反して朝日は逐次賣行發展の氣勢を示せり。之が原因は單に一時的人氣の浮動に基くものに非ずして、購買力の減退に因る濃厚なる節約氣分の結果に基くものの如し。次に兩切紙卷煙草の本年度內地賣渡高は六十九億四千六百七十九萬七千本、代金三千七百二十萬九千餘圓にして、前年度に比し數量に於て十四億九千三百七十八萬七千本（二割七分四厘）、代金に於て七百七十七萬八千餘圓（二割六分四厘）を增加せり。兩切煙草中サロンは原料關係により引續き製造不能供給杜絕の狀態にありたるも、其の他の品種は上級品、下級品の別なく孰れも賣行良好供給不足なりし爲め、需要數の增加は多く供給の數に左右せらるるの實狀にして、殊にバット、蝴蝶兩種の需要增進は寔に目覺しきものありたり。次に又刻煙草の本年度內地賣渡高は六百三十三萬五千貫匁、代金七千百七十八萬二千餘圓にして、前年度より數量に於て二十二萬七千餘貫匁（三分五厘）、代金に於て三百七十一萬八千餘圓（四分九厘）を減少せり。刻煙草の賣行は右の如く依然不振にして、水府、薩摩刻、「なでしこ」、富貴煙の外總て前年に比し減退を示したり。水府、薩摩刻の增加は前年度供給不足なりし爲にして、需要の實勢は寧ろ稍〻不況にあるものの如し。「なでしこ」及富貴煙の兩種は賣行頗る好況にして、就中「なでしこ」は著しき需要增進の爲め供給の不足を告ぐるに至り、今後更に發展の餘地あるを示したり。次に內地製葉卷煙草の本年度賣渡高は二百四十五萬千餘本、代金十八萬七千六百四十九圓にして、前年度に比し數量に於て三十七萬千本、代金に於て三萬三千二圓の減少を示せり。然れども爲替相場の關係等に因り適當品種の葉卷の輸入僅少なりしと、安價なる內地製品の嗜好傾向ありて稍〻賣行好轉の氣勢を認められたり。次に輸入製造煙草の賣行狀況を見るに、其の中葉卷煙草の本年度賣渡高は百十萬三千餘本、代金二十八萬七千八百十一圓にして前年度より數量に於て十萬九千九百九十三圓を減少し、又紙卷煙草の賣渡高は二億五千七百九十一萬五千餘本、代金三百四十六萬三千五百九十二圓にして、前年度に比し數量に於て七千九百四十萬六千本、代金に於て百二十一萬七千八百九十九圓を激增したり。紙卷煙草の激增は蓋し內地製兩切煙草供給不足緩和の爲め輸入せし安價なる製品の賣行良好なりしに基くものなり。更に又刻煙草の本年度賣渡高は三千九百二十貫餘匁、代金二十萬二千六百六十九圓にし

て、前年度に比し數量に於て百五十七貫餘匁、代金に於て六千百三十三圓を減少したり。

**(八)　煙草輸移出**

本年度內地製造煙草の輸出用賣渡高は口付紙卷煙草・兩切紙卷煙草・葉卷煙草共に絕無にして、僅に刻煙草の三千百四十貫、代金三萬九千百九十九圓あるのみなり。又移出用賣渡は口付紙卷煙草八億二千九百八十六萬本、代金百九十四萬七千八百九十五圓、兩切紙卷煙草三千二百九十九萬本、代金八萬六千八百九十五圓、葉卷煙草八千本、代金千四十五圓、刻煙草二萬八千九百二十貫、代金二十二萬五千十五圓、代金合計二百二十六萬八百四十九圓なりとす。今賣渡代金を總計するに二百三十三萬九千二百四十八圓となり、前年度に比較して三十六萬七千五百十六圓の增加となれり。

## 第二十八款　大正十四年度

**(一)　煙草耕作**

本年度に入りても政府は尙ほ財政の整理緊縮・一般的消費節約に力を致したる結果、煙草の需要亦不振を免れ難き情勢を示したるを以て、葉煙草生產額も之を適度に調節するを必要とし、各產地の狀況に應じ耕作段別の減少を圖れり。然れども米國種の需要は却て增加の趨勢なるを以て之が生產增加の要あると、海外輸出の尙ほ減少を見ざるものあるとに因り、耕作公示及試作承認を合せて耕作段別を三萬八千四百二十七町步と定め、前年度に比し八百九十三町步の減少に止めたり。然るに蠶絲界は爲替の激落と米國財界の殷賑とに因り獨り著しく活況を呈し、財界不振の折柄農村を刺戟すること大なるものありしと共に、前年度に於ける葉煙草耕作の稀有の凶作に祟らるるものありて許可段別三萬七千四百五十二町步、植付段別三萬七千三百十四町步（人員二十八萬三千九百二十五人）となり公示承認段別に比し許可に於て九百七十五町步、植付に於て千百十三町步を減少し、前年の植付に比し千三百六十町步の減少を來せり。

本年の作柄を見るに、苗床期の天候概して低溫なりし爲め苗の生育稍遲延せしも、移植期の天候順調なりしを以て支障なく移植を了せり。移植後は根付良好なりしが、六月上旬及七月下旬に鹿兒島地方局管內に暴風襲來し、又六月下旬に水戶・宇都宮地方局管內に稀有の降雹被害あり。其の他の地方は梅雨期以降天候大體順調に經過したる爲め一般に良好の生育を遂げたり。然るに八月以降名古屋以北の產地は降雨多く收穫乾燥に著しく惡影響を及ぼし、殊に東京・水戶・宇都宮・仙臺地方局管內は其の影響甚しく、九月は亦一般に低溫多濕に失し品質を損すること少からず。結局本年度葉煙草の總收穫量目は千七百三十萬七千餘貫（內本年度收納濟千七百三萬六千餘貫、翌年度繰越二十萬六千餘貫、亡失廢棄其の他六萬五千餘貫）にして、前年度に比し十九萬九千餘貫（二分一厘）を增加せり。卽ち全國一段步當收量は四十七貫二百匁に達し、平年に比し八分六厘の低下を示し、段當收入金に於ては大體平年と大差なきを得たり。

又本年度に於ける煙草罹災補償金の交付高は人員四千八百八十六人、段別五千八百八十七町步、金額十萬二千百八十三圓、被害地一段步當十七圓なりとす。

**(二)　葉煙草收納**

關東地方大震災の影響に因り諸物價一般に昂騰し、殊に十三年下半期に入りては農產物及蠶繭等

前年に比し一割以上二割内外の騰貴を來し、自然對抗作物及産業の收益は增大するに反し、煙草は耕作上の生産費を增嵩し損失を示すに至れるのみならず、兩三年作柄不良の爲め人氣銷沈し、所要段別充實不可能に陷りしを以て、政府は必須原料生産誘致の策を加味し、葉煙草賠償價格中十一等以上に對し一貫目當價格に於て十錢乃至一圓の引上を行ひ、同時に十七等を廢し、從來原料として使用に堪へず、且つ將來不要なる最下級雜葉の收納を廢止することとせり。

本年度に於ける葉煙草收納は同年産中翌年度に繰越見込量目二十三萬千七百七十貫、賠償金五十七萬五千六百五十三圓を除き、年度內收納見込は量目千七百二十九萬三千七十六貫、賠償金五千三百二萬千六十圓、之に古葉量目三十一萬二千二百五十七貫、賠償金五十二萬九千二百五十六圓を加へ、收納豫定高量目千七百六十萬五千三百三十二貫、賠償金五千三百五十五萬四百十六圓となりしが、一部地方に於ける降雹又は暴風雨の被害と、八月に於ける陰濕なる天候とに因り、收量竝に品質を損するものありて、年度內新葉收納高に於て量目二十五萬六千七百十貫、賠償金四百五十八萬六千八百六十四圓を、翌年度繰越高に於て量目二萬四千五百七十五貫、賠償金八萬七千百二十一圓を各、減少し、本年度收納總額は量目千七百三十四萬八千六百二十二貫、賠償金四千八百九十六萬三千五百五十二圓となり、當初の豫定に比し量目一分五厘、賠償金八分六厘を減少したり。

**(三)　葉煙草輸入**

外國產葉煙草の購買高の最も多きは米國葉の數量四十二萬千八百三十一貫、價格五百八十三萬六千二百八十五圓にして、支那葉の數量二十萬三千三百二十二貫、價格八十九萬九千三百二十九圓之に亞ぎ、馬尼剌葉·印度葉·土耳古葉等之に順次す。而して其の總額は數量八十四萬八千二百六十貫、價格七百五十五萬千五百九十三圓にして、前年度に比し數量に於て五十七萬二千三百九十二貫、代金に於て百二十九萬七千八百六十六圓を減せり。

**(四)　葉煙草輸移出**

本年度輸出用葉煙草の賣渡高は合計五十一萬七千五百三十九貫、代金百二十七萬百三十七圓にして、此の內埃及輸出四十二萬五千九百二十二貫、代金九十七萬五千百四十七圓首位を占め、支那輸出八萬三百四十五貫、代金二十一萬六千七百三圓之に亞ぐ。移出用賣渡は四十一萬四千九百九十九貫、代金四十六萬七百八十三圓にして、全部朝鮮移出なりとす。今輸移出高を總計すれば數量九十三萬二千五百三十八貫、代金百七十三萬九百二十一圓にして、前年度に比し數量に於て二十萬四千四百四十六貫、代金に於て七十二萬七千七百二十六圓を減少せり。

**(五)　煙草製造**

本年度に於て煙草製造の爲め使用したる葉煙草の原量目は千六百七萬六千餘貫にして、解包調理の結果千五百九萬七千餘貫となり、差引九十七萬八千餘貫（六分一厘）の缺減を生せり。之を前年度に比すれば原量目五十一萬八千餘貫（三分一厘）、實量目四十六萬千餘貫（三分）、差引缺減量目五萬七千餘貫（五分七厘）を夫々減少せり。

本年度に於ける煙草製造高（更裝品數量を含む）は口付紙卷煙草二百十二億四百七十一萬三千餘本、兩切紙卷煙草七十一億二千七百三十三萬七千餘本、葉卷煙草二百四十二萬五千餘本、刻煙草六百三十二萬九千餘貫にして、之を前年度に對比するときは兩切紙卷煙草十五億四千九十五萬九千餘本（二割一分六厘）を增加し、口付紙卷煙草八億四千四百六十七萬四千餘本（三分九厘）、葉卷煙草七萬七千餘本（三分）

一厘、刻煙草十一萬六千餘貫（一分八厘）を減少せり。而して兩切以外の諸煙草の減少は、大正十四年十一月に於ける定價値上に伴ふ賣行減退に基くものなり。

**（六）煙草輸入**

本年度外國製造煙草購買高は紙卷煙草九億四千九百五十一萬三千餘本、代金三百七十一萬三千八百四十三圓、葉卷煙草百八十五萬八千餘本、代金十五萬四百四十五圓、刻煙草四千八百九十三貫餘、代金十一萬七千四百八十七圓、板煙草二十四貫、代金二百三十圓、代金合計三百九十八萬二千六圓（外に年度内未納額二萬二千二百二十四圓あり）にして、前年度に比し三十五萬三千餘貫（九分七厘）の增加なりとす。

**（七）煙草販賣**

本年度に入りても財界の不況は未だ恢復するに至らず、購買力は依然沈衰して煙草の賣行は倍〻不振を免れず、殊に今年十一月に於ける製造煙草の一般的値上は此の勢を助長したるのみならず、上級品より下級品へ、口付煙草より兩切煙草への需要移行を如實に示したり。而して本年度の內地煙草賣渡高は、內國製品（移入品をも含む）總代金二億四千二百二十萬八千百六十一圓、外國製品總代金三百三十三萬二百四十七圓、合計二億四千五百五十三萬八千四百八圓にして、前年度に比し百七十八萬六千餘圓の減少なりとす。今各品種別に就き其の賣行狀況を概說するに、先づ內地製造煙草に就て見れば、口付紙卷煙草の本年度內地賣渡高は數量百九十二億二千十四萬三千餘本、代金一億二千四百四十七萬二千六百七十圓にして、前年度より數量二十五億一千五百七十九萬八千本、代金九百八十一萬七千八百一圓の減少なりとす。此の內數島は百十三億六千百九十三萬餘本、代金七千八百五十一萬四千七百四圓を占め、依然第一位に居れども、朝日の賣行は益〻飛躍的にして、本年度に於ては前年度より數量十六億百五十四萬八千五百本、代金千二百七十九萬八百三十九圓を增加して、七十三億三千九百四十二萬八千餘本、四千二百七十六萬三千六百四十八圓となりたり。次に兩切紙卷煙草の本年度內地賣渡高は七十八億九千四百七十八萬八千本、代金四千五百三十萬四千三十九圓にして、前年度に比し數量九億四千六百六萬三百餘本、代金八百九萬四千七百七十五圓を激增したり。此の內ゴールデンバットは五十四億二千七百九十六萬一千本、代金三千五十萬四百九十六圓を占めて第一位に居り、エアーシップの六億五千五百八十五萬五千本、代金六百十四萬四千七百五十七圓、蝴蝶の十億三百三十七萬九千本、代金四百七十四萬千六百六圓等之に次げり。更に又刻煙草の本年度內地賣渡高は六百二十九萬六千七百七十四貫、代金七千二百二十四萬五千五百七十四圓にして、前年度に比し數量に於ては三萬八千餘貫を減じたるも、代金に於ては四十六萬三千餘圓を增加したり。前年度より賣行の增加したるものは水府・薩摩刻「はぎ」、「なでしこ」、富貴煙にして、減退したるものは福壽草・白梅・「さつき」、「あやめ」なりとす。又內地製葉卷煙草の本年度賣渡高は百九十一萬五千餘本、代金十四萬四千九百三十二圓にして、前年度に比し數量に於て五十三萬六千餘本、代金に於て四萬二千七百十七圓を減少したり。移入製造煙草の本年度內地賣渡高は兩切紙卷煙草三百八十四萬三千餘本、代金二萬八千四百四十七圓、葉卷煙草四萬五千三百九十本、代金一萬二千四百九十七圓、代金合計四萬九百四十四圓なりとす。次に輸入製造煙草の賣行狀況を見るに、葉卷煙草の本年度賣渡高は百四十八萬八千餘本、代金三十八萬七千三百九十七圓にして、前年度に比し數量三十八萬五千餘本、代金九萬九千五百八十六圓を增加し、又紙卷煙草の賣渡高は一億五千四百十八萬二千餘本、代金二百六十七萬七千九百八十三圓にして、前年度に比し數量一億三百七十三萬四千本、代金七十八萬五千六百九圓を減少したり。更に又

刻煙草其の他煙草の賣渡高は四千三百二十八貫、代金二十六萬四千八百六十六圓にして、前年度に比し數量三百七十一貫、代金六萬千二百十圓を增加したり。

（八）煙草輸移出

本年度內地製造煙草の輸出用賣渡は刻煙草三千四百五十貫、代金四萬五千九十七圓にして、前年度に比し數量三百十貫、代金五千八百九十八圓を增加し、又移出用賣渡は口付紙卷煙草十億九百八十萬本、代金二百三十三萬六千三百五十九圓、兩切紙卷煙草三千九百三十八萬五千本、代金十萬五千八百十圓、葉卷煙草六千本、代金七百六十一圓、刻煙草二萬四千四百七十貫、代金十八萬六千四百二十一圓、代金合計二百六十二萬九千三百五十二圓にして、前年度代金合計に比し三十二萬九千三百三圓の增加なりとす。

## 第二十九款　昭和元年度

（一）煙草耕作

本年度の煙草耕作は財界の情勢及煙草需要の趨向に稽へて、前年度よりも內地種に於て千百十八町歩を減じ、米國種に於て六百五町歩を增加し、公示竝に試作許可を合せて三萬七千九百十四町歩と決定したり。然るに前年に於ける煙草作柄の不良と他農作物の豐穰とに因り、煙草耕作の氣勢を損したる地方尠からざりし爲め、實際許可段別は自然減少して三萬六千八百九十九町歩となり、植付段別は更に減じて三萬六千八百二十六町歩（入員二十七萬九千七百四十七人）となり、前年植付段別に比し四百八十八町歩を減少するに至れり。

次に本年に於ける作柄の概況を見るに、苗床期中四月の天候は低溫寡雨なりし爲め苗の發育一時阻害せられたりしも、五月に入り氣溫上昇と共に生育を促進し、平年と大差なきを得たり。移植期は稍乾燥に過ぎたる嫌ありて、晩作地方の一部に支障ありたるも大體無難に終了せり。而して六七月の天候は概して高溫寡濕の爲め生育に惡影響を來し、殊に東京以北の產地に於て甚しく、又七月上旬水戶、宇都宮、郡山地方局管內に降雹ありたる等兎角天候順調を缺きたるも、其の後の天候大體順調なりし爲め大に生育を挽回し、全國を通じ收量は平年に比し稍增加を見るに至れり。卽ち本年度の總收穫量目は千六百九十二萬四千餘貫（內本年度收納濟千六百五十四萬三千餘貫、翌年度繼越三十三萬二千九百餘貫、亡失廢棄其の他四萬七千六百貫）にして、前年に比しては三十八萬三千餘貫（三分二厘）を減少したるも、平均一段步當收量は四十五貫九百匁となり、平年に比し六分の增收を示せり。然れども一般に成熟を遲延し、加ふるに九月上旬多雨に過ぎたる爲め晩作產地の乾燥を一層不良ならしめ、品質は概して良好ならず、一貫匁當價格は三圓八厘（本年度に於て賠償價格の引上ありし）にして、平年に比し六分三厘の低下を示し、段當收得金に於て漸く平年と大差なきを得たり。

又本年度に於ける煙草罹災補償金の交付高は人員千三百五十九人、段別千三百八十八町步、補償金額二萬三千四百九十四圓、被害地一段步當十六圓なりとす。

（二）葉煙草收納

諸物價は前年より引續き騰貴して低落を見ず、從て煙草作は生產費を增嵩し、米國種を除くの外は損失を示すに至れるのみならず、對抗產業たる養蠶は春季以來非常の好況を呈し、而も益隆盛に赴きしを以て、爲に煙草作は所要段別充實不可能となるに至れり。茲に於て當局は十二等以上に對し賠

價價格の引上を斷行し、又收支計算上及其の他の關係に依り引上の必要なしと認めたる米國種に對しては標本品位の異動を爲し、八等以下十等まで半箇等、十一等以下十五等まで一箇等引下げ、賠償價格改定に依る收益增加を調節して大體據置とせり。

本年度に於ける葉煙草收納は、新葉中翌年度に繰越すべき見込量目二十九萬八百三十三貫、此の見込賠償金七十三萬六千二百十二圓を除き、年度內收納見込高量目千六百七十八萬九千三百七十二貫、賠償金五千五百十四萬百六十圓と、古葉量目二十萬七千百九十四貫、賠償金四十八萬八千五百三十二圓とを合せて量目千六百九十九萬六千五百十六貫、賠償金五千五百六十二萬八千六百九十二圓の豫定なりしが、東京以北の產地は移植以後の不順なる天候に災せられて收量・品質共に豫定に達せず、又鹿兒島地方は收穫期に於ける多雨の爲に痛く品質を損するものありて賠償金額の激減を來し、更に東北地方に於ける晚熟葉の多產は翌年度に繰越高を增加し、爲に年度內新葉收納高は千六百五十四萬三千五百二貫、賠償金五千八萬七千五百九十二圓に減少し、古葉收納を加へて本年度收納高は量目千六百七十九萬六百九十九貫、賠償金五千五十七萬六千百三十三圓となり、豫定に比し量目一分四厘强、賠償金九分一厘弱を減少したり。

（三）葉煙草輸入

外國產葉煙草購買高の最も多きは米國葉の數量九十五萬千五百四十六貫、價額六百九萬五百四十四圓にして、支那葉の數量十三萬六千五十一貫、價額六十二萬千二百二十八圓之に亞ぎ、印度葉・馬尼剌葉・土耳古葉・スマトラ葉等之に順次す。外に朝鮮葉の購買高十四萬九千六百八十二貫、價格五十四萬四千四百二十三圓あり、之を加ふるときは總購買高數量百四十五萬三千三百四十六貫、價額七百八十七萬千五百圓となり、前年度に比し數量六十萬五千八十六貫、價額三十一萬九千五百五十八圓を增加したり。

（四）葉煙草輸移出

本年度に於ける輸出用葉煙草の賣渡高は支那輸出用數量百十八萬三千二百三十九貫、代金百二十七萬五千四百四十五圓、埃及輸出用數量千二百七十二貫、代金四千五百八十七圓、合計數量百十八萬四千五百十一貫、代金百二十八萬三十二圓にして、移出用葉煙草の賣渡高は朝鮮移出數量百四十六萬二千四百三十三貫、代金百七十八萬七千四百七十九圓なり。右輸移出を總計するときは數量二百六十四萬六千九百四十四貫、代金三百六萬七千五百十二圓にして、前年度に比し數量百七十一萬四千四百六貫、代金百三十三萬六千五百九十一圓を增加せり。

（五）煙草製造

本年度に於ける煙草製造の爲め使用したる葉煙草の原量目は千五百九十萬九千餘貫にして、解包調理の結果千四百八十八萬千餘貫となり、差引百二萬八千餘貫（六分五厘）の缺減を生じたり。之を前年度に比すれば原量目十六萬七千餘貫、實量目二十一萬六千餘貫を減少し、缺減量目四萬貫を增加せり。

本年度に於ける煙草製造高は口付紙卷煙草百七十四億六百三十五萬餘本、兩切紙卷煙草八十六億七千四十七萬三千餘本、葉卷煙草二百十萬餘本、刻煙草六百三十二萬五千餘貫にして、之を前年度に對比するに、兩切紙卷煙草は十五億四千三百十三萬六千餘本（二割六分）を增加したるも、口付紙卷煙草は三十七億九千八百三十六萬三千餘本（一割七分）、葉卷煙草は三十二萬五千餘本（一割三分）、刻煙草は四千

餘實を各〻減少せり。兩切煙草の增加に反し口付紙卷煙草の減少を示せるは、口付より兩切への急激なる需要推移の結果に基く消費量の減少を見込みしものにして、其の他の煙草の減少を示せるは値上關係に依る節煙等を顧慮したるに出づるものなり。

（六）煙草輸入

本年度の外國製造煙草の購買高は紙卷煙草九億九千百二十七萬四千本、代金三百六十八萬四千四百五圓、葉卷煙草七十九萬九千四百五十本、代金七萬五千一圓、刻煙草三千五百四十七貫餘、代金八萬三千四百五十二圓、板煙草百三十三貫、代金千六十二圓、代金合計三百八十四萬三千九百二十一圓にして、前年度に比し十三萬八千八十五圓の減少なりとす。

（七）煙草販賣

本年度に於ても財界の不況は依然として好轉せず、購買力の減退は愈〻煙草賣行數量を萎縮せしめたり。殊に前年十一月に於ける一般定價値上以後の傾向たる、上級品より下級品へ、口付煙草より兩切煙草へ、卷煙草より刻煙草への需要轉向は一層顯著となれり。而して本年度內地煙草賣渡高は、需要數量の相對的減少にも拘らず、定價引上の爲めに代金は寧ろ前年度よりも增加したり。卽ち內國製品（移入品をも含む）總代金二億五千九百五十三萬四千六百四十四圓、外國製品總代金三百五十七萬千四百五十七圓、合計二億六千三百十萬六千百一圓にして、前年度に比し千七百五十六萬七千六百九十三圓の增加を示せり。今各品種別に就き其の賣行狀況を概說するに、先づ內地製造煙草に就ては、口付紙卷煙草の本年度內地賣渡高は數量百七十六億二千六百九十三萬三千本、代金一億二千四百八十萬七千六十五圓にして、前年度に比して數量は十五億九千三百二十一萬本を激減したるも、代金は却て三十七萬四千三百九十五圓を增加したり。此の中朝日は數量九十六億八千九百七十六萬四千餘本（前年度より二十三億五千三十三萬六千本增加）、代金六千三百三十一萬四百十一圓（前年度より二千五十四萬六千七百六十三圓增加）にして、始めて敷島を凌駕して第一位を占め、敷島は數量七十五億千六百三萬五千餘本（前年度より三十八億四千五百八十九萬五千本減少）、代金五千八百九十八萬七千七百十七圓（前年度より千九百五十二萬六千九百八十七圓減少）にして、第二位に落ちたり。其の他の品種に在りては數量代金とも云ふに足らざれども、敷島、やよひ以上の上級品は悉く賣行減少し、之に反して朝日以下の下級品は總て賣行增加を示せり。次に兩切紙卷煙草の本年度內地賣渡高は九十三億八千五百九十四萬二千餘本、代金五千九百四十六萬九千四百十圓にして、前年度に比し數量十四億九千百十五萬四千本、代金千四百十六萬五千三百七十一圓を激增したり。此の中ゴールデンバットは六十四億七千六百萬七千本（前年度より十億四千八百四萬六千本增加）、代金三千九百六十二萬五千三百五圓（前年度より九百十二萬四千八百九圓增加）を占めて依然第一位に居り、エアーシップの五億六千六百二十九萬三千餘本（前年度より八千九百五十六萬二千本減少）、代金五百九十四萬九千七百三十七圓（前年度より十九萬五千一圓減少）、蝴蝶の十億八千八百二十二萬八千餘本（前年度より八千四百八十四萬七千百三十一圓增加）等之に亞ぐ。其の他の品種に就きては擧げて數ふるに足らざれども、エアーシップ以上の上級品に在りては、スターを除くの外は總て數量代金共に減少を示し、リリー以下の下級品に在りては悉く其の賣行を增加したり。之れ前記口付煙草に於けると同じく、需要の下級品に移轉するの傾向を如實に現はしたるものなり。尙ほ大正五年度以降製造を中止し、同十四年度に至り再び製造販賣を開始したるチエリーは其の賣行良好にして、本年度に於ては四億三千五百四十

二萬本、代金三百八十一萬五千百四十七圓の賣渡ありたり。次に刻煙草の本年度內地賣渡高は數量六百三十四萬六千四百八十六貫、代金七千五百八萬四千八百六十三圓にして、數量に於て四萬九千七百十二貫、代金に於て二百八十三萬九千二百八十九圓を增加したり。此の中賣行の最も多きは「なでしこ」の數量二百一萬九百二十四貫（前年度より三十四萬六千九百十七貫增加）、代金千四百三十七萬五千五百五十六圓（前年度より三百四十五萬六千八百四十一圓增加）、「はぎ」の數量百九十一萬九千二百六十九貫（前年度より二萬六千八百七十六貫增加）、代金千九百十一萬三千九百三十五圓（前年度より百五十三萬五千百五十圓增加）、「あやめ」の數量百五十六萬三千九百十八貫（前年度より五萬四千四百三十一貫增加）、代金二千三百五十四萬六百六十一圓（前年度より三百十八萬六千九百六十七圓增加）、「さつき」の數量六十八萬九千七百八十九貫（前年度より三十三萬五千二百五十三貫減少）、代金千三百五十六萬七千四百九十八圓（前年度より四百五十七萬二千三百二十九圓減少）の四種なりとす。刻煙草に於ても「さつき」以上の上級品卽ち水府・薩摩刻・福壽草・白梅は悉く前年度より減少し、「あやめ」以下の下級品卽ち「はぎ」・「なでしこ」・富貴煙は皆夫々增加したり。而して刻煙草全體を通じて賣行の增加したるは近年稀に見る現象にして、以て定價改正の消費者に影響する所の甚大なるを知るべし。更に又內地製葉卷煙草の本年度內地賣渡高は百八十三萬五千本、代金十五萬四千十一圓にして、前年度に比し數量は八萬本を減少したるも、代金は八千三百十七圓を增加したり。尙ほ移入製造煙草の本年度內地賣渡高は兩切紙卷煙草一萬二千本、代金百五圓、葉卷十萬七千本、代金一萬九千百八十八圓、代金合計一萬九千二百九十三圓にして、代金合計に於て前年度より二萬千六百五十一圓の減少なりとす。次に輸入製造煙草の賣行狀況を見るに、其の中紙卷煙草の本年度內地賣渡高は一億九千二百十七萬七千本、代金三百八萬八千二百六十七圓にして、前年度に比し數量三千七百九十九萬五千本、代金四十一萬二百四十四圓を增加し、又葉卷煙草の賣渡高は七十六萬六千本、代金二十四萬八千十二圓にして、前年度に比し數量七十二萬二千本、代金十三萬九千三百八十五圓を各、減少せり。而して刻煙草其の他の賣渡高は三千六百二十四貫、代金二十三萬五千百七十八圓にして、前年度に比し數量七百四貫、代金二萬九千六百八十八圓の減少なりとす。

（八）煙草輸移出

本年度內地製造煙草の輸出用賣渡は兩切煙草千百萬本、代金一萬七千三百九十一圓（ほまれのみ）、刻煙草三千四百六十貫、代金四萬六千五百五十八圓、代金合計六萬三千九百四十九圓にして、前年度に比し一萬八千八百五十二圓を增加し、又移出用賣渡は口付紙卷煙草七億八千八百六十萬本、代金百八十萬四千八百六十九圓、兩切紙卷煙草四千七十萬五千本、代金十一萬九千四百三十圓、葉卷煙草二千本、代金四百三十三圓、刻煙草二萬七千八百六十貫、代金二十二萬三千九百二十二圓、代金合計二百十四萬八千六百五十六圓にして、前年度代金合計に比し四十八萬六百九十六圓を減少したり。

明治大正財政史　第九卷　終



大藏省納本

昭和十一年十一月二十六日　印刷
昭和十一年十一月三十日　發行

〔明治大正財政史第九卷奥附〕
——全二十卷ノ內——

著作權所有

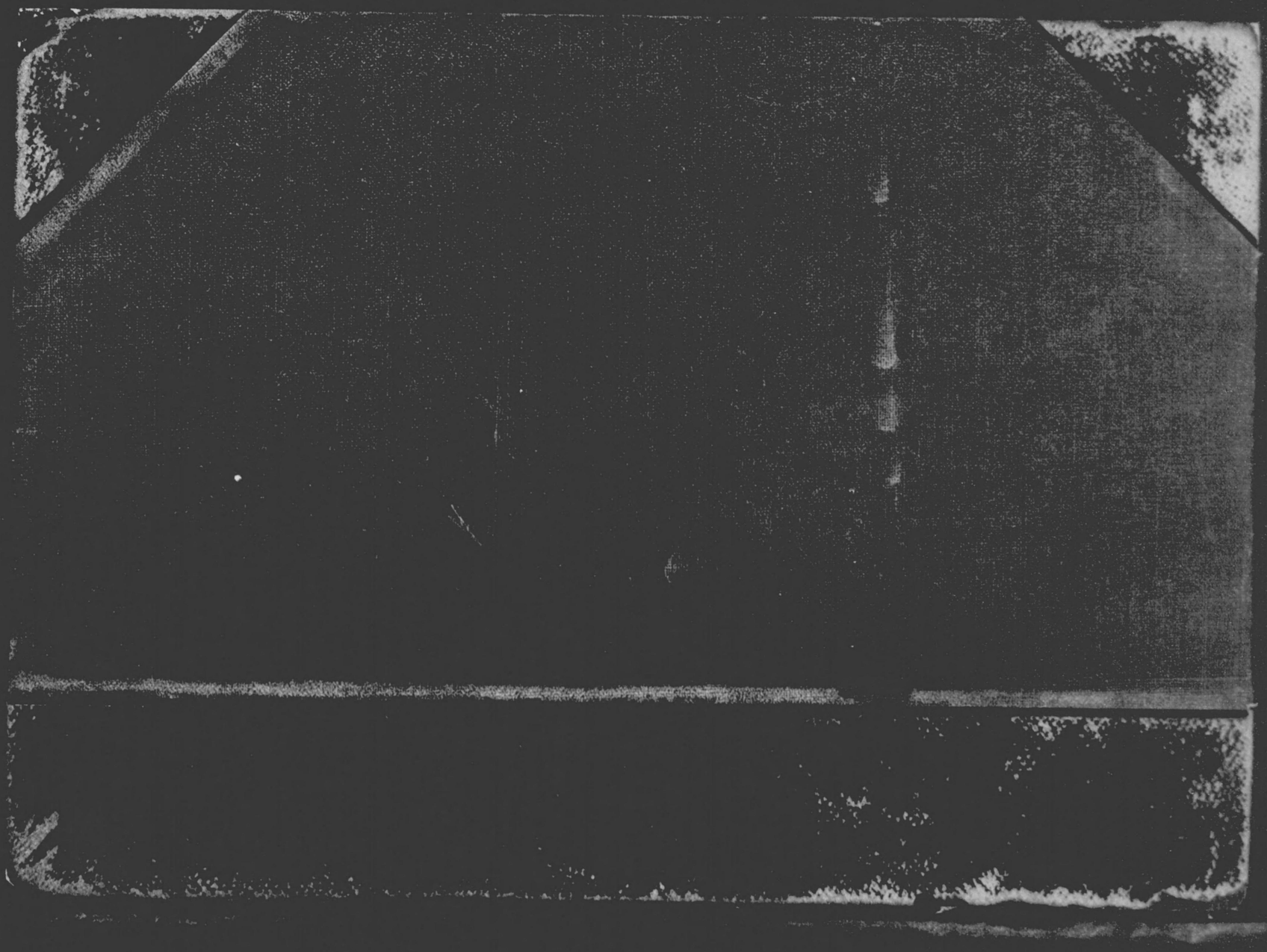
大藏省編纂

發行元　財政經濟學會
東京市赤坂區田町七丁目三番地
明治大正財政史部振替東京一七〇八番
電話赤坂(48)三四〇・三四一番

發行兼印刷者　東京市赤坂區田町七丁目三番地　草村松雄

印刷所　東京市牛込區榎町七番地　大日本印刷株式會社　榎町工場

# 明治大正財政史（全二十卷）略目次


第一卷　第一編　總說
　　第二編　財政機關
第二卷（第二回配本）　第三編　會計制度
第三卷　第四編　歲計（上）
第四卷　第四編　歲計（中）
第五卷　第四編　歲計（下）
第六卷　第五編　內國稅（上）
第七卷　第五編　內國稅（下）
第八卷　第六編　關稅
第九卷（第三回配本）　第七編　專賣（上）
第十卷　第七編　專賣（下）
第十一卷（第一回配本）　第八編　國債（上）
第十二卷　第八編　國債（下）
第十三卷　第九編　國庫金及資金運用
第十四卷　第十編　通貨
第十五卷　第十一編　銀行（上）
第十六卷　第十一編　銀行（下）
第十七卷　第十二編　金融
第十八卷　第十三編　外地財政
第十九卷　第十四編　雜纂
第二十卷　總目錄・索引・財政經濟年表

705
32